

地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域がん診療連携拠点病院
専門医療施設(がん/成育/骨・運動器)
エイズ治療中核拠点病院
第二次救急医療指定病院
臨床研修指定病院

FMC NEWS

福山医療センターだより

FUKUYAMA MEDICAL CENTER



2026 July
Vol.19 No.7



Instagram始めました!
病院紹介、採用情報を掲載しています。
是非ご覧ください。

nho_fukuyama



福山医療センター 地域医療連携のつどい 2026

令和8年度 地域医療連携のつどい を開催して

院長

稲垣 優

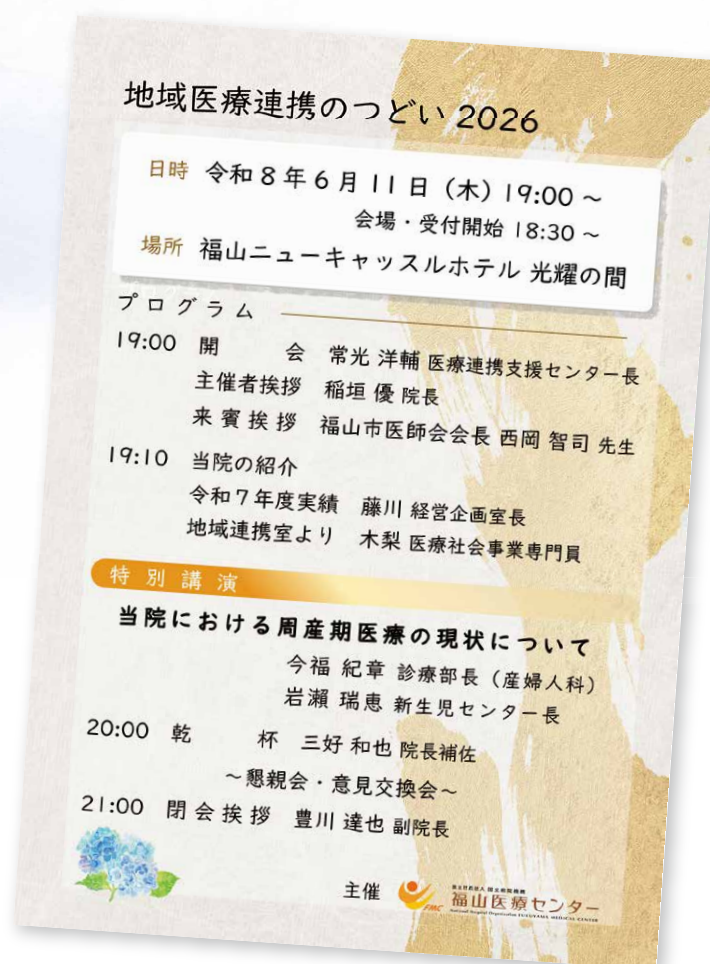


6月11日に当院の地域医療連携のつどいを開催しましたのでご報告させていただきます。

昨年同様、各医療機関より総勢190名余の事前申し込みがあり、多くの皆様にご来場いただき、心より感謝申し上げます。当日は各医療機関より185名、院内より93名の参加があり、会場は熱気に溢れておりました(写真1)。

当院からの挨拶、来賓の挨拶(写真2)に続き、当院の紹介として経営企画室より経営状況、地域医療連携室からの報告させていただきました。引き続き、特別講演として「当院における周産期医療の現状について」と題し、今福産婦人科診療部長と岩瀬新生児科医長より、当院の周産期医療の歴史と現状、今後の方向性について紹介させていただきました(写真3)。詳細は引き続きの記事をご参照ください。

今年は中東情勢が混迷を極め、先行きが見えない状況であり、病院においてもその影響を避けることができず、光熱費の高騰、医療材料の不足が危惧されます。国内では高市政権となり、医療特に急性期病院の窮状に目を向けられ、当院もそれに漏れず経営状況が厳しい中、今年度の診療報酬改定では急性期病院に対する診療報酬が手厚くなり、当院もその恩恵に期待しております。昨年7月にリニアックの更新が完了し、最新の放射線治療を提供する体制が整いました。ソフト面では病院機能評価の更新が10月にあり、3rdG:Ver3.0の認定を受けました。今年のプロ



常光洋輔医療連携センター長



写真1

ジェクトとして手術室の1室増設が進行中で順調に進めば、12月に完成、来年1月より運用開始となります。それにより手術待機患者の待機期間の短縮を図り、また、入院患者数の確保に繋がればと考えております。

2023年に手術支援ロボットda Vinci Xiを導入し、昨年8月に300例を達成し、泌尿器科、消化器外科を中心に症例を蓄積し、昨年12月よりは呼吸器外科にてもロボット支援手術を開始しました。昨年度は278例のロボット支援手術を行い、新たな診療報酬改定で内視鏡手術用支援機器加算を取得することができました。国指定の地域がん診療拠点病院としてがん診療にかかる技術・治療の向上と地域のがん診療連携を推進していくことが求められており、引き続き質の高い先進的かつ高度な最新の治療を提供して参ります。

当院は働き方改革の一環として2021年より特定行為研修指定研修機関として看護師の特定行為研修に取り組み、6年目を迎えました。今年は外部医療機関の4名を含め6名の入構者を迎え、特定行為に対する関心の高さが伺えます。厚生労働省は2025年までに10万人の特定行為看護師を養成することを目標としておりましたが、昨年までに1万4千人余とまだ、目標に程遠く、特定行為の裾野を拡げていく必要があります。今年度より血糖コントロールに係る薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整）、術後疼痛管理関連を追加し、栄養に係るカテーテル管理関連（PICCの挿入、CVの抜去）を含め、引き続き特定行為看護師を育成し、地域の働き方改革の支援を行って参ります。看護師のスキルアップ、キャリアアップとして地域の医療機関の皆様には当院での研修をご検討いただければ幸いです。

当院は通常医療の中でも地域の救急医療を担うことが重要な使命の一つで、現在、地域の成人救急医療体制下での空床確保病院であり、救急搬送患者の搬送困難事例の発生を回避し、地域の救急医療体制を死守していくことが肝要と認識しております。また、この地域唯一の地域周産期母子医療センターとしての役割を担っており、通常分娩、グレードAの緊急分娩に対応するとともに、小児科、小児外科の担う新生児医療を充実させて参ります。

ペースアップ、物価の高騰、2024年度診療報酬改定等により2024年度より赤字へと転化し、厳しい経営状況ですが、その中で2026年度診療報酬改定による増収と手術室増設による入院患者数の確保により経営改善を図るとともに、地域の基幹病院としての役割を果たすべく、職員一丸となり鋭意努力していく所存です。意見交換会では新任医師の紹介とともに、会場では様々な医療機関より当院のスタッフに忌憚のないご意見を頂き（写真4）、今後の改善に繋げ、地域に寄り添うより良い病院創りを目指して参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に今回の地域医療連携のつどいも皆様のご協力で成功裏に終わり、心より感謝申し上げます。



稲垣 優院長



西岡智司医師会長



三好和也院長補佐



豊川達也副院長

写真2



藤川直也経営企画室長



今福紀章産婦人科診療部長



木梨貴博医療福祉相談係長



岩瀬瑞恵新生児科医長

写真3

特別講演・意見交換会



写真4

来賓ごあいさつ

福山市医師会 会長

西岡 智司



このたびは、「福山医療センター 地域医療連携のつどい」のご盛会、まことにとおめでとうございます。福山医療センターにおかれましては、日々医師会業務にご協力いただき、また大塚先生・荒木先生の二名の先生方に理事として理事会を支えていただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

福山医療センターは、政策医療として、「がん、骨・運動器、成育医療」という三つの柱を掲げておられ、皆様ご承知のように地域医療支援病院・がん診療拠点病院・地域周産期母子医療センターであり、福山・府中二次医療圏における基幹病院として地域の医療を支えていただいております。紹介率は87%、逆紹介率94.5%と地域医療支援病院としての基準を大きくクリアされております。大型医療機器の共同利用や内視鏡のスクリーニング検査にも積極的に取り組んでいただき、我々医師会員の診療を支えていただいております。

救急医療にも非常に注力していただいております。昨年度の救急応需率も上昇しておりました。救急搬送困難事案は、全国的に増加しており、当圏域におきましても圏域唯一の空床確保病院である福山医療センターに、昨年度は418名の受け入れ困難事案に対応していただきました。今年1月からは長年の折衝の末、中国中央病院にも加わっていただくことが出来ました。負担軽減に寄与できればと思っております。並行して2025年4月から「救急搬送患者受入促進事業費補助事業」を開始しました。これは、夜間および日曜祝日に救急車による患者搬送の受け入れに対し、受入医療機関に金銭的なインセンティブを付与するという事業です。初年度の実績では、福山医療センターは、福山市民病院につぐ補助金額になっておりました。少しでも経営的な側面支援になればと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

6月から診療報酬が改定されました。ペースアップ評価料は、病院経営に直接的に寄与するとはいえ、DX推進についても電子処方箋・電子カルテ情報共有サービスを含む医療機関全体の情報連携基盤を評価する仕組みとなっており、固定費の増加も予想されます。エネルギー価格や食材費、医療材料の高騰・商品不足に翻弄され、医療業界は順風とは言えない状況が続いております。

病診連携を一層強化し、医療環境を維持する必要があります。我々医師会員も紹介・逆紹介にしっかりと対応してまいります。福山市民の健康をまもるためにも引き続きのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

特別講演

当院における周産期医療の現状について

診療部長（産婦人科）

今福 紀章



出生数は全国的に年々減少しており、2025年も67万人と過去最少でした。福山市の出生数も同様で2011年をピークに減少しています。

ただ晩婚化などの社会的背景に伴う35歳以上の高齢妊娠の割合は増加し、高血圧、糖尿病などの何らかの合併症、リスクを持つ割合は3人に1人と考えられており、妊産婦死亡率も高い傾向にあります。また不妊治療後の多胎妊娠、低出生体重児の増加などハイリスクな妊産婦、新生児への対応が重要で。

当院は地区唯一の地域周産期母子センターとして、合併症妊娠、早産、多胎、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離といった疾患や社会的背景のあるハイリスクな妊産婦に対応し、地域医療に貢献しています。

以下、当院の実績です。分娩数は2018年の700件をピークに減少しており、過去5年でも平均490件となっています。ただ内訳として母体または産科合併症のある割合が平均7割でした。早産、低出生体重児の割合も2割強を占めていました。

全分娩の約半数は帝王切開となっていますが、胎児機能不全、難産、妊娠高血圧症候群、双胎妊娠、前置胎盤、常位胎盤早期剥離などといった疾患に加え早産の緊急紹介を受け入れているため、4割は緊急帝王切開、さらに半数は時間外の緊急手術でした。

母体搬送は過去10年の平均95件であったものが、ここ数年で70件前後と減少しておりますが、上記の様々な疾患対応に加え、特に2021～22年は新型コロナウイルス感染症妊婦の搬送を多く受け入れ、搬送割合も最多でした。

高齢妊娠の割合は当院でも多く、35歳以上の割合は平均35%で年々増加していました。約3割は何らかの合併症を抱えており、一件あたりの医療的リスクは高まっていると考えられます。

当院は救命センターを併設しておらず、分娩後の出血などの対応では近隣施設へ搬送依頼をしていますが、帝王切開術中や産後に予防あるいは治療として子宮内バルン留置を積極的に行っており、全例ではないものの一定の効果が院内での治療完結ができています。

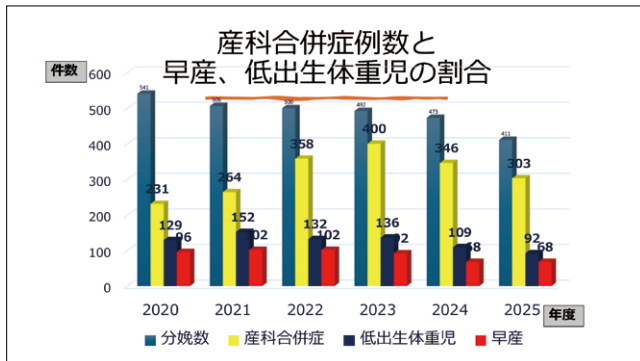
いわゆる超緊急（GradeA）帝王切開にも対応しており、2018年からの8年間で約60件あり、院外からの緊急紹介が約3割、時間外対応が約5割でした。

また、特定妊婦などの社会的ハイリスク例も近年増加しており、他の近隣自治体からの要請を含め、過去5年で22例の飛び込み分娩がありました。当院では2025年8月から周産期ハイリスクカンファレンスを行っており、院内関係部署だけでなく、外部からネウボラ推進課職員、保健師、ケースによっては東部子ども家庭センター職員の方々にも参加いただき、情報の共有に努め、分娩後の育児を含めた対応に寄与しています。

今後分娩数の減少は避けられないため、混合病床化や、産後ケア事業といった病床運営の取り組みも行いつつ、当院の地域周産期母子センターとしての役割、機能を維持していくことが重要であると考えています。



(スライド1)



(スライド2)



(スライド3)



(スライド4)



(スライド5)

特別講演

当院における周産期医療の現状について

新生児科

岩瀬 瑞恵



このたび、地域医療連携のついで、「当院における周産期医療の現状について」と題して、新生児部門の講演をしましたので、一部を抜粋してご紹介いたします。

○当院の新生児医療の歴史（スライド1・2）

今回、当院の新生児医療の歴史を調べるにあたり、事務の方が院内誌「熊ヶ峯」を探してくださり、創立50周年記念誌に掲載されている貴重な記事を初めて拝見しました。母子医療センター開設前の1972年の記事には、国立福山病院で生まれる赤ちゃんは毎年千人を超えている、と記述されていました。1983年に新築工事が完成し、母子医療センターが開設されました。1999年に広島県東部では初めての地域周産期母子医療センターに認定され、以後、数年毎に新生児集中治療室（NICU）の病床数を増床し、2013年に現在の12床となりました。2021年は全国的に新型コロナウイルス感染症が流行し、初期には広島大学病院・県立広島病院・当院の3施設が新型コロナウイルス陽性妊婦の入院・分娩施設として広島県が公表しました。陽性妊婦から出生した新生児はNICU内の陰圧室へ設置した保育器に入り、N95マスクも含めた個人防護具一式を装着したスタッフが新生児のケアを行いました。このように長く、当圏域の新生児医療を支えてきた歴史があります。



(スライド1)



(スライド2)

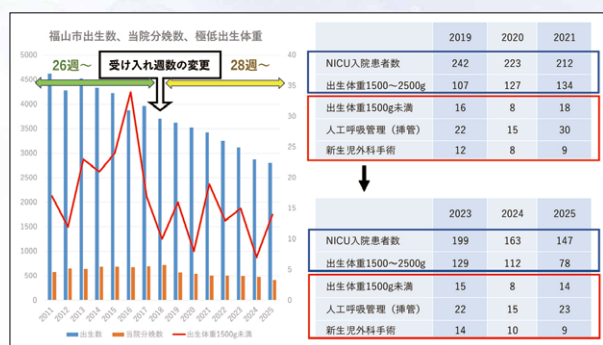
○2026年の当院の現状と取り組み（スライド3・4）

2025年の全国出生数は約67万人で過去最少を更新しました。福山市の出生数も年々減少傾向であり、当院の分娩数やNICU入院患者数も減少傾向にありますが、出生体重1500g未満の症例数は約15例、気管内挿管を伴う人工呼吸管理件数は約20件、新生児外科手術件数は約10件で、

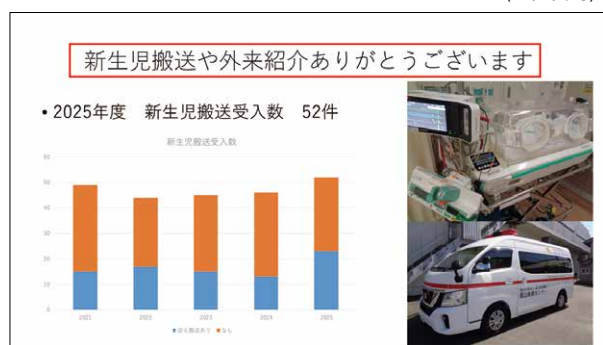
減少することなく推移しています。以前は妊娠26週以降の新生児を受け入れていました。2018年には新生児専門医が減少しましたが、ひきつづき妊娠28週以降の早産の対応を続けており、現在に至ります。

地域の分娩施設等で出生後に、治療を必要とする新生児の受け入れ（新生児搬送）の件数は、2025年度52件でした。呼吸障害や新生児仮死など緊急で治療を要す場合は、新生児科医師が分娩施設へ出向き、治療を行いながら、新生児専用の搬送保育器で当院まで搬送します。治療により早期に状態が安定し、母親が分娩施設へ入院中の場合には、当院が所有している救急車で分娩施設へ赤ちゃんをお連れして、母児分離期間の短縮に努めています。

昨年度、当院NICUで初めて特定行為研修を行い、新生児集中治療ケア認定看護師が2名体制となりました。新生児蘇生法講習会は定期的に開催しており、院内スタッフはもちろん院外からも受講者を公募し、地域の周産期医療従事者のスキルアップに貢献しています。2023年から平成大学助産学専攻科の胎児・新生児学特論の講義を担当しており、卒業生が助産師となり、当院で一緒に働くことができおり、嬉しく思っています。



(スライド3)



(スライド4)

〇さいごに(スライド5)

荒木小児部長のもと新生児専門医3名、一般小児科医師の協力もあり、診療を行っています。新生児センターには認定看護師2名を含む65名と多くの看護師が勤務しており、当院の長年の歴史で培った専門性の高い新生児看護を受け継ぎ、新生児病棟を支えています。地域の新生児医療において当院の果たす役割は大きく、今後も赤ちゃんご家族に寄り添い、安心安全な新生児医療を行います。



(スライド5)

令和7年度病院実績

経営企画室長

藤川 直也



今年度も「地域医療連携のつどい」に、多くの医療機関の皆さまにご参加をいただき誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。当日は、参加いただいた多くの医療機関の皆さまが、当院職員と歓談されている場面を拝見し、改めて皆さまに支えられていることを実感しました。

令和7年度の経営状況についてですが、患者数については、入院患者数、外来患者数ともに前年度より減少してしまい、今年度も2か月が経過しましたが、まだ、令和6年度並みには回復しておりません。さらに、令和7年度は電子カルテや大型医療機器の更新、物価高騰で費用が増加し、医業収支では約10億円、経常収支でも約7.4億円を超えるマイナス収支となりました。

一方で、昨年度更新しましたリニアックは順調に稼働しております。高線量率モードによる治療時間の短縮をはじめ、高精度の画像誘導放射線治療が可能となっております。ご利用を希望される場合は、放射線治療科の方までご連絡をお願いします。

また、当院では令和5年12月よりda Vinci（ダヴィンチ）を利用したロボット手術を開始していますが、昨年度は278件実施しており、全国140施設ある国立病院機構のなかでもトップクラスの実績となりました。累計でも令和5年12月よりこの5月まで、累計535件の実施となりました。

今年度は手術室の稼働の効率化を図るべく、手術室を一室増設する等、必要な医療をさらに迅速に提供し、引き続き患者さんにとって安心できる治療環境づくり、地域医療への貢献を目指して参ります。

引き続き当院へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

診療実績（入院）



当院の近隣をはじめ多くの紹介患者様が入院されています

(スライド1)

ご紹介のファーストコールが、 福山医療センターとなるために

診療実績(入院)



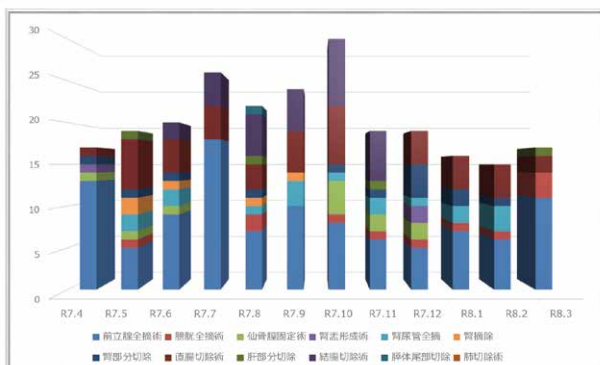
(スライド1)

経営状況



(スライド3)

Da Vinci Xi 運用状況



(スライド4)

医療社会事業専門員
木梨 貴博



2026年6月11日、「2026年度 福山医療センター地域医療連携のつどい」が、多くの地域の医療機関の皆様に参加していただき、開催することができました。昨年度に引き続き今年度も本当に多くの医療機関の医師、看護師、地域連携実務者の皆様、そして行政機関の皆様、約180名以上の方々に参加していただき、当院に対する期待を非常に強く感じ、また有意義かつお互いに顔の見える関係を深化させることができた貴重な時間であったと思います。心より感謝申し上げます。

今年度も「地域連携の実績」として2025年度の地域連携の実績を報告させていただきました。ご紹介をいただいた患者様の内、地域連携経由でのご紹介が80%以上を維持できており、これもご紹介のファーストコールとして当院を選んでいただいたからこそだと考えております。しかし、当院としては全診療科へのご紹介をまだまだお待ちしております。

今年度は、特に『ご紹介のファーストコールが、福山医療センター』となるために、「急性期の病院の第一印象を決める前方連携」「急性期医療の誇りを支える後方連携」をより充実させ、「信頼される地域医療連携室」を目指して参ります。地域の医療機関の皆様を始め、地域の様々な機関等から信頼されることで『ご紹介のファーストコールが、福山医療センター』が現実になると信じております。そして外来診療予約申込だけでなく、内視鏡検査、開放病床、大型医療機器共同利用、外来栄養指導等も行っておりますので、ぜひご活用いただけますと幸いです。

最後となりましたが、改めてご参加いただいた皆様、本当にありがとうございます。今後ともご紹介の際のファーストコールは福山医療センターとなりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

Fukuyama Medical Center

福山医療センター

《病床数》350床

一般317

ICU4、NICU12、GCU12、HCU5

《診療科》31科

《令和7年度診療実績》

- ・外来患者数(1日平均): 639.8名
- ・入院患者数(1日平均): 275.1名
- ・手術件数(年間): 3,472件
- ・分娩件数(年間): 411件
- ・救急患者数(年間): 3,639名
(うち救急受入件数2,092名)
- ・平均在院日数: 10.7日

《主な機能》

がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター・第二次救急医療指定病院・エイズ治療中核拠点病院・地域医療支援病院

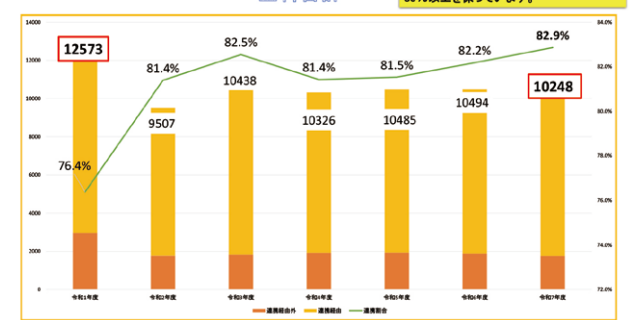


(スライド1)

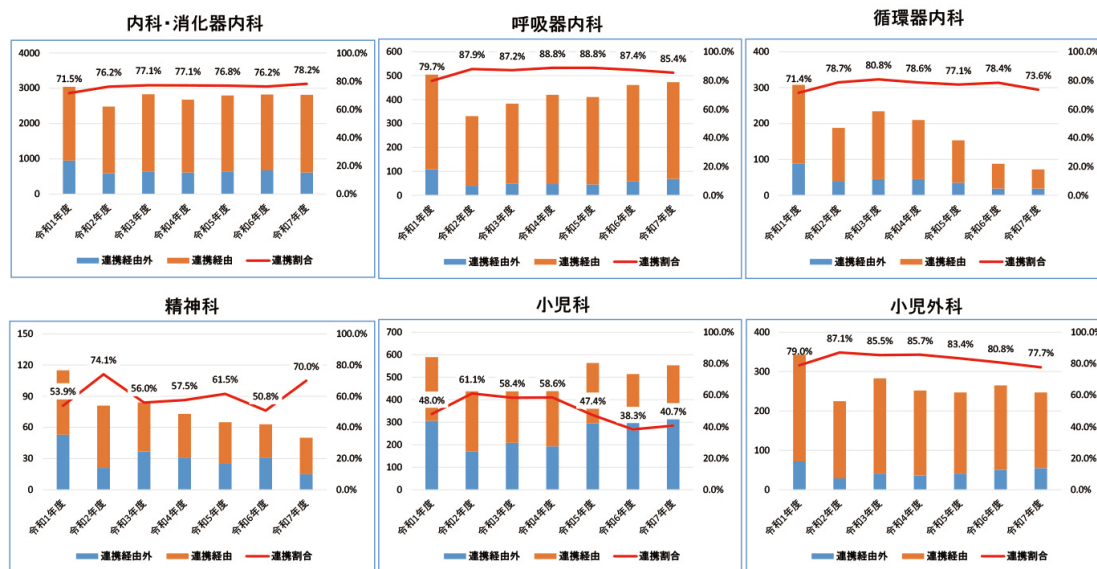
Fukuyama Medical Center

金銭合計

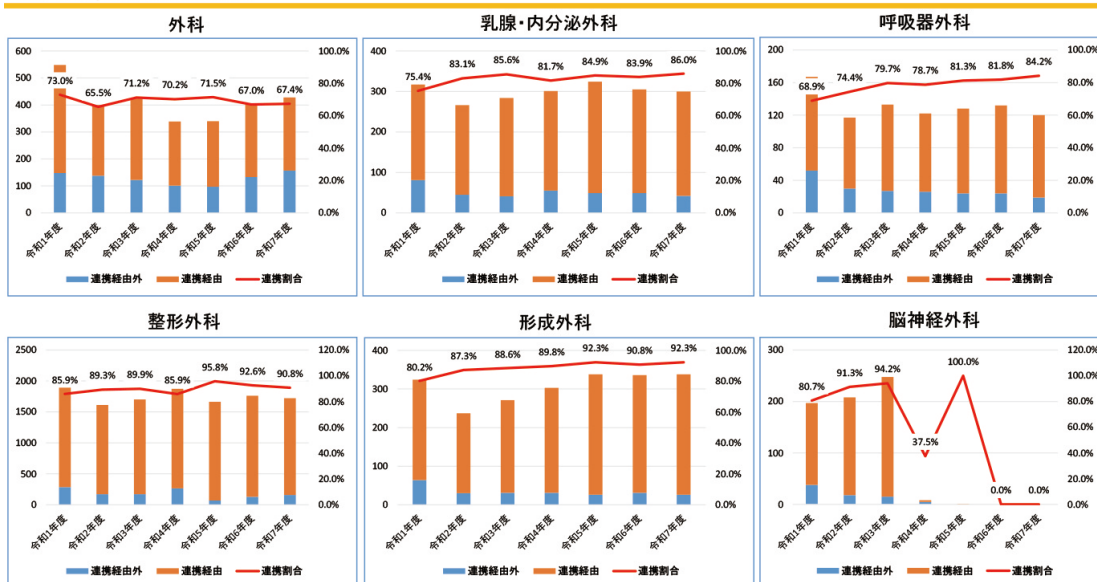
地域の医療機関の皆様からの紹介割合が80%以上を保っています。



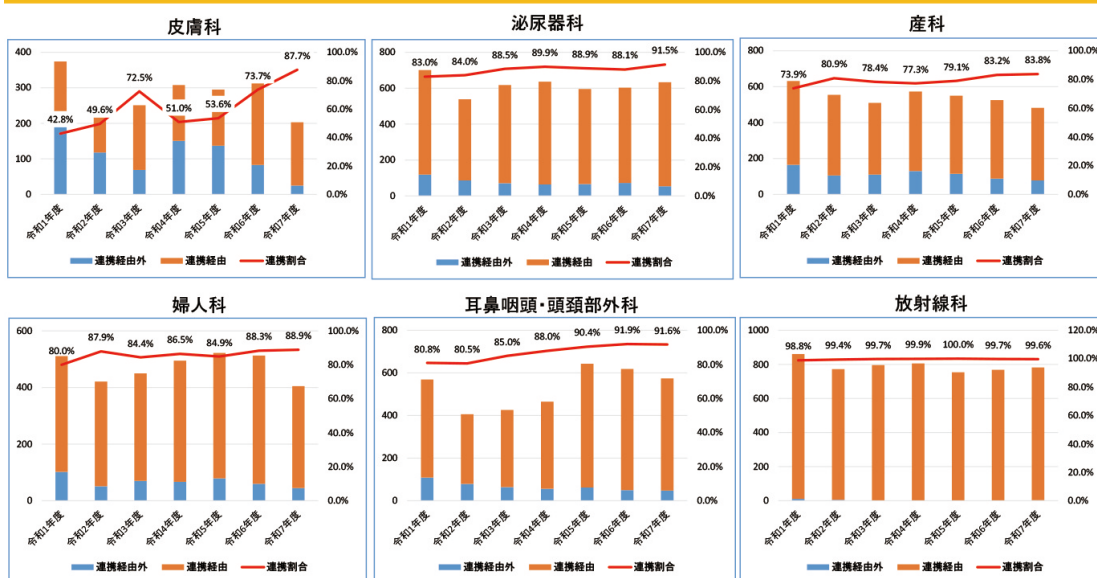
(スライド2)



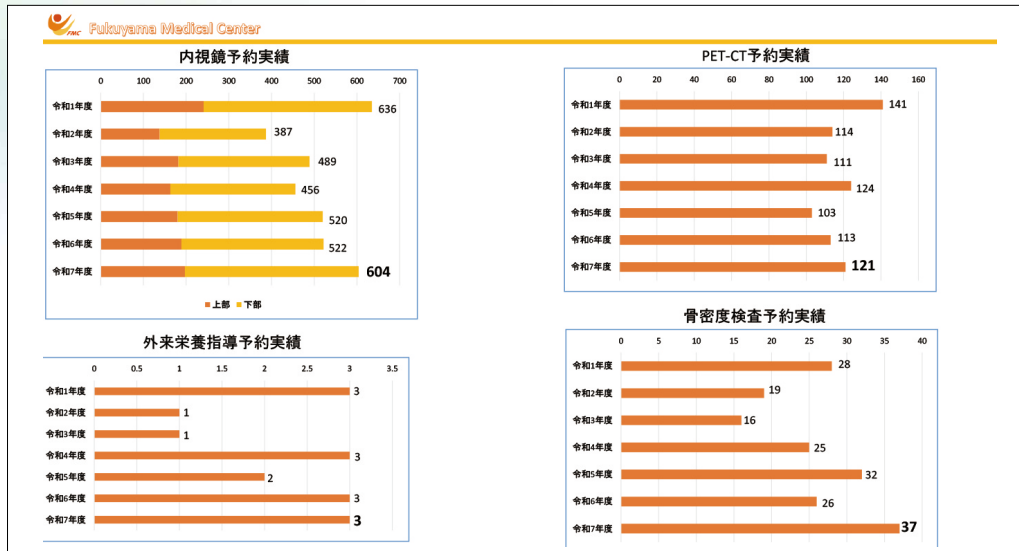
(スライド3)



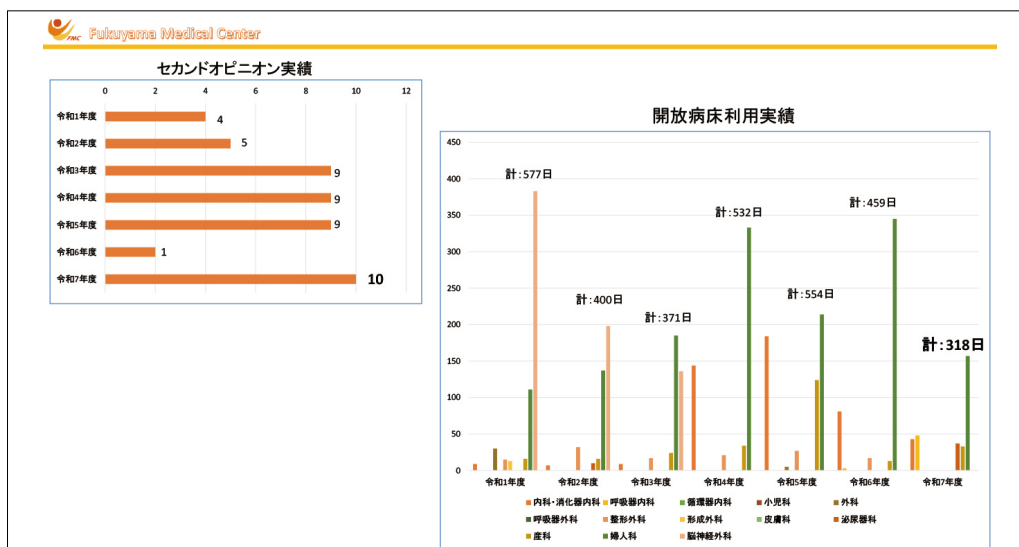
(スライド4)



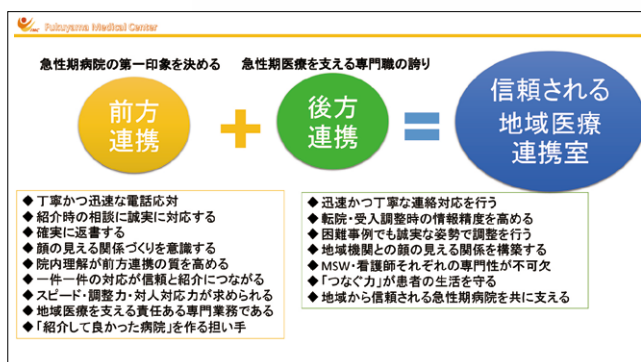
(スライド5)



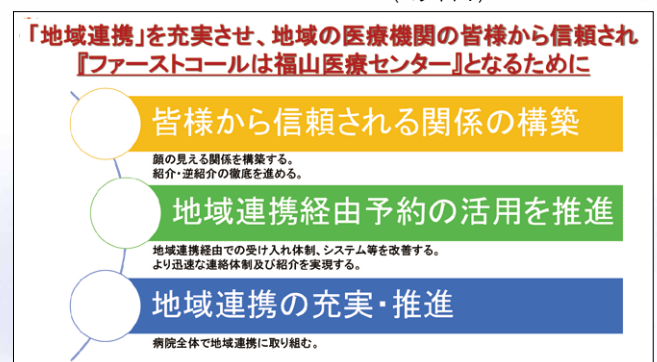
(スライド6)



(スライド7)



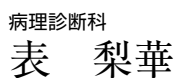
(スライド8)



(スライド9)



(スライド10)



日頃より診療・研究にご支援いただいている関係各位に、心より御礼申し上げます。

Morphologic Fault Lines in Distinguishing Gastric Cancer pTis From pT1a in Endoscopic Submucosal Dissection Specimens: An Interobserver Study

¹Department of Diagnostic Pathology, Fukuyama Medical Center, Hiroshima, Japan | ²Department of Cell Pathology, Graduate School of Medical Sciences, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan | ³Department of Diagnostic Pathology, Yokohama City University Medical Center, Yokohama, Japan | ⁴Department of Diagnostic Pathology, Tsuchumi City Hospital, Tsuchumi, Japan | ⁵Division of Molecular and Genomic Pathology, Department of Pathology, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan | ⁶Department of Molecular Pathology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan | ⁷Department of Pathology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan | ⁸Department of Pathology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan | ⁹Department of Diagnostic Pathology, Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan | ¹⁰Department of Pathology, Teikyo University Hospital, Tokyo, Japan

Keywords: endoscopic submucosal dissection | gastric cancer | interobserver agreement | morphology | pT1a | pT1s

The 16th edition of the Japanese Classification of Gastric Carcinoma newly distinguishes pTis from pT1a to improve international translatability with the WHO classification and UICC TNM system. However, the histologic boundary between intraepithelial neoplasia and lamina propria invasion remains difficult in routine practice. We retrospectively evaluated interobserver agreement in 50 gastric endoscopic submucosal dissection lesions randomly selected from 238 lesions previously diagnosed as intramucosal carcinoma under the 15th edition criteria. For each lesion, two representative histologic images were independently reviewed by 10 pathologists, who classified each lesion as pTis or pT1a according to predefined architectural criteria. Complete agreement was obtained in 12 lesions, including 10 unanimously diagnosed as pTis and 11 as pT1a, whereas 29 showed disagreement. Overall agreement was moderate, with a Fleiss's kappa value of 0.483. Discordant lesions involved fused or anastomosing glands, cribriform-like structures, crawling or lateral expansion-like patterns, and invasion mimics related to erosion, artifact, or mucosal remodeling. These findings indicate that distinguishing true invasive architecture from morphologic mimics is central to reproducible implementation of the revised classification.

Pathologic criteria for gastric epithelial neoplasia have historically differed between Japan and Western countries. In the Japanese diagnostic tradition, lesions corresponding to high-grade dysplasia in Western terminology have often been regarded as carcinoma, whereas Western classifications have generally separated non-invasive dysplasia or intraepithelial

neoplasia from invasive carcinoma [1, 2]. These differences have long created difficulty in translating diagnostic categories across systems and have motivated efforts toward internationally compatible terminology. The Vienna classification represented one such effort by reorganizing gastrointestinal epithelial neoplasia according to cytologic severity, architectural abnormality, and invasion status [2].

Pathology International, 2026; 76:e70132
<https://doi.org/10.1111/pin.70132>

1 of 10

9

連載
No.134

在宅医療の現場から

「最期まで食べる」を支えるということ

先日、日本老年歯科医学会学術大会で「在宅歯科医療における“最善の”歯科医療・ケアとは」というシンポジウムの座長を務めました。

全国で在宅歯科医療に携わる先生方や、終末期医療を取材してきた新聞記者の方とともに、「人生の最終段階に歯科は何ができるのか」を議論する、大変貴重な時間となりました。

在宅歯科医療をしていると、いつも自分に問いかけることがあります。

「この方にとって、本当に最善の医療とは何だろう。」

私たちは歯科医療を土台として、さらにその先の、その方の人生の物語に伴走したいと考えています。

「もう一度、大好きなお寿司を味わいたい。」

「家族と同じ食卓を囲みたい。」

「食べられなくなっても、好きな味を少しでも感じたい。」患者さんの願いは、一人ひとり違います。

今回のシンポジウムでは、「最期まで口から食べることを支える」だけではなく、「その人らしい人生をどう支えるか」という視点も大事に語られました。

食べることは栄養をとるためだけではありません。家族との思い出や、生きる楽しみ、人生そのものと深く結びついているからです。

また、ご講演の中で「その人にとって最善の医療は、その地域らしい形がある」という点も印象に残りました。医師や歯科医師だけでなく、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、介護職をはじめとした医療、介護職だけでなく、家族や地域の人たちが支え合うことで、初めて本人の望む暮らしや食べる喜びを支えることができます。

「最後まで食べることを支えることは、土台にはその人が何を大切にしていたのか、どんな人生を歩んできたのかを知り、その人らしい選択を一緒に考えることが大切だと思っています。

人生の最期は、誰にでも訪れます。だからこそ、「最期をどう迎えるか」だけではなく、「今をどう生きるか」「今、誰と食卓を囲むか」「今、おいしく食べられること」を大切にしていきたいと思います。

今回の学会を通して、改めてそのことを深く考える機会となりました。

これからも地域の皆さまと共に、最期まで「その人らしく食べる」ことを支えられるよう、私たちも学び続けていきたいと思っています。



訪問診療部 部長
歯科医師

猪原 光

医療法人社団 敬崇会



猪原[食べる]
総合歯科医療クリニック

〒720-0824

広島県福山市多治米町5丁目28-15

TEL 外 来/084-959-4601

訪問部/084-959-4603

FAX 外 来/084-959-4602

訪問部/084-959-4604



いろんなテーマでつぶやきます 外科医のひとりごと

Vol.80 「水俣病と有害金属」



福山医療センター
院長補佐
大塚 眞哉

プロフィール
1990年岡山大学医学部卒、医学博士。岡山済生会病院、岡山大学などを経て99年から福山医療センター外科勤務。専門は消化器外科、特に胃がん大腸がん外科。岡山大学医学部臨床教授、日本内視鏡外科学会評議員で、ESMO（欧州臨床腫瘍学会）などに所属。座右の銘は山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」。

公式確認から70年

戦後最大の公害事件である水俣病は、公式確認から七〇年を迎えました。原因には有機水銀を含んだ工場排水で、企業も国も有効な対策を取らないまま被害が拡大し、被害者は七万人を超えました。

水銀は大きく金属水銀、無機水銀、有機水銀に分けられます。特に有害なのが有機水銀と、蒸気になった金属水銀で、視野障害・運動失調・発声に障害を来す構音障害といった中枢神経症状を生じます。無機水銀では神経症状は発症しませんが、腎障害や胃腸障害を引き起こします。

その昔、水銀式体温計の水銀を誤って飲んだ子供が、急患として運ばれて来ました。「金属水銀は吸収されずに排出されるので、心配いらない」と説明したことを覚えています。

2013年、「水銀に関する水俣条約」が採択され、21年からは水銀体温計や水銀灯の製造・輸出入が禁止されました。LED化が進む中、27年末までに全ての蛍光灯の製造・輸出入が禁止（使用販売は可）となっています。

「病名による偏見」

「水俣病」という病名のために、水俣市民は偏見や差別を受けたそうです。最近では病名には制限がありません。インフルエンザも当初は「スペイン風邪」や「香港風邪」など、最初の流行地の名で呼ばれました。

水俣のような差別や風評被害を避けるために15年WHO（世界保健機関）が病名に地名や人名、動物名狂

牛病など）を用いない指針を公表しました。そのため、19年に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは「COVID-19」と命名されました。

【他の有害金属】

富山県・神通川流域で発生したイタイイタイ病は、有害金属のカドミウムが原因です。鉱山の廃液に含まれていて腎尿管障害と骨軟化症、全身の激痛や繰り返す骨折をもたらしました。

また、ヒ素は無色無味無臭のため、昔から暗殺に使われていました。貴族は予防のために銀製の食器を使用しました。ヒ素には硫黄の不純物が含まれており、これが銀と反応して銀食器を黒く変色させるためです。ヒ素は細胞のエネルギー産生に関する酵素を阻害し、多彩な症状を起こします。

1998年の「和歌山毒物カレー事件」では、ヒ素により四人が短時間で死亡しました。慢性中毒の症状は皮膚炎や骨髄・肝・腎障害

末梢神経炎などです。

鉛は江戸時代には薬やおしろいに使われ、神経や胃腸障害、貧血などの鉛中毒による死者を出しました。以前はガソリンや塗料などにも用いられて中毒患者がいましたが、禁止となりました。今はほとんどいません。現在も放射線遮蔽材、蓄電池や古い住宅の水道管に使われていますが、通常は中毒になることはありません。

鉛管はさびにくく加工もしやすいため、80年代まで使用されていました。水が滞留すると溶け出す恐れがあり、89年以降鉛管の新設は規制されています。しかし、全国で約一九〇万戸に残存しています。

古いアパートの住人が鉛中毒になったとの報告もあり、長期間滞留した水を防ぐため、朝一番の水の使用は避けた方が無難です。改築時には取り換えの検討を。自治体によっては費用の補助があります。

福山市医師会 × ぐらんふあま

特別インタビュー

人生100年応援隊

Vol.51

福山市医師会 副会長
大塚 眞哉 先生
(福山医療センター)

今回お話をきいたのは：

福山市医師会の先生方に、健康に関するお話をお伺いする「人生100年応援隊」。第51回目は大塚眞哉先生に「なぜ、がんになるの？」をテーマに教えていただきました。

ぐらんふあーま編集室―がんが発生する仕組みを教えてください。

大塚先生―日本人の死因の1位はがんで、24%を占めます。国立がんセンターの統計(2023年)によれば、一生のうちになんと診断される確率は男性61%、女性50%で、2人に1人はがんにかかります。私は、外科医としてたくさんのがんの患者さんの手術を行ってきましたが、「なぜ、がんになるのか」とよく聞かれます。

私たちの体は約60兆個の細胞から構成されており、そのうち毎日1%ほどの細胞が死に、細胞分裂をして新たな細胞が生まれています。細胞分裂はDNA(遺伝子)を元にコピーされますが、DNAががん物質や活性酸素に傷付けられてコピーミスが起こります。これが遺伝子の突然変異です。

変異した時にがんの発生に関わる「がん遺伝子」も「EGFR」「HER2」「RAS」などたくさん分かっており、治療薬

につながっています。傷付いた細胞が発がん促進物質の影響を受け、がん細胞に変わって増殖していき、10〜30年の年月を経てがんが発病します。

(ぐ)―がんになる原因は何ですか？

(大)―がんの原因は、半分は生まれながらの遺伝子の個人差、遺伝的素因などの内的要因です。ほとんどのがんは遺伝しませんが、特定のがんになりやすい体質は受け継がれる可能性があります。家族にがんの人がいるかを聞くのはそのためです。

一方、外的要因で明らかになっている物の代表がタバコです。喫煙者は非喫煙者に比べて約1・5倍がんになります。臓器別では、肺がんでは男性4・5倍で女性4・2倍、食道がんでは約4倍、喉頭がんでは約5倍にもなります。

能動喫煙だけでなく、受動喫煙もがんのリスクを高めます。副流煙は主流煙に比べてニコチンが2・8倍、タールが3・4倍、一酸化炭素が4・7倍も含まれており、主流煙より有害です。しかも自分の意思に関係なく吸い込んでしまいます。

その他の外的要因では、ピロリ菌が胃がんに関与しており、早期の除菌が有効です。肝炎ウイルスは肝臓がんに関与しており、感染予防と感染が分かった場合

には、薬によりウイルスの増殖を抑えることが有効です。子宮頸がんは他のがんと異なり、20代からみられます。多くは性交渉に伴うパピローマウイルスが関与しており、ワクチンで感染を防ぐことにより、がんを予防できます。

また、紫外線(皮膚がん)、放射線、アルコール摂取過多、高脂肪食などが挙げられます。もともと日本人に少なかった大腸がんは、ハワイに移住した人では増加しており、近年は国内の大腸がん患者も増えています。これは高脂肪食摂取などの食生活の欧米化が関係しています。

(ぐ)―がんを予防することはできますか？

(大)―反対にがんのリスクを下げる食品として、緑黄色野菜、食物繊維(大腸がん)、EPAやDHAの多い青魚、コヒー(理想は1日3〜4杯をブラックで)、抗酸化作用のあるポリフェノール(赤ワインに多く含まれますが、飲み過ぎは禁物)などが挙げられます。週2回30分以上の運動も成人病予防と同様に有効といわれています。「人生100年応援隊」としては、先述したように、がんになるには10〜30年かかるので、がん年齢(50代)に達する前から、日々取り組むことが重要です。

― 市民の健康を守る ―

(一社) 福山市医師会



■所在地 福山市三吉町南2丁目11-25
■TEL (084)922-0243
■FAX (084)926-0573
■HP <https://www.fmed.jp/cnt>



福山市医師会メールマガジン
いきいき健康メール
登録者募集中!

<https://www.fmed.jp/cnt/mag/>



Fukuyama Medical Association



面白い生物の世界 と クラシック音楽



臨床検査科 特別診療役
長谷川 利路

再々度 エピジェネティクスについて ：胎児期の低栄養と 成人期の生活習慣病との関連

エピジェネティクスについて、意外に反響が大きかったので、再々度、記載したいと思います。

器官の分化、発生や疾患におけるエピジェネティクスの関与について述べてきましたが、今回は子宮内での胎児発育とその児が成人になってからの生活習慣病との関連についての話題です。

前回悪性腫瘍が日本人の死因の多数を占めることを述べましたが、生活習慣病も大きな因子であることが以前から指摘されており、予防健診や健康増進推進活動なども種々の健診センターで行われております(図1)。1986年イギリスのサザンプトン大学臨床疫学のパーカー教授が「低出生体重児では成人期に冠動脈疾患の発症することが多い」ことを発表し大きな反響を呼びました。当時は賛否両論ありましたが、現在では広く受け入れられており、この関連はパーカー仮説と言われています(Lancet等)。すなわち成人になってからの高血圧、2型糖尿病、高脂血症、肥満や冠動脈疾患が生まれた時の低出生体重児に多く発症するというもので、これにエピジェネティクスが関与することが最近指摘されています。

近年新生児出生数は減少傾向にありますが、低出生体重児(出生体重が2500g以下の新生児)の割合は増加傾向にあります(図2)。低出生体重児には早産によるものと、子宮内発育不全に伴う低栄養や低酸素血症が原因となるものがありますが、特に後者(子宮内発育不全)による低出生体重児に多く将来生活習慣病になりやすい傾向にあり、栄養状態が悪かったお母さんのおなかの中で少ない栄養源をなんとか効率よく節約して利用できるようになったことが原因であったとする「節約表現型仮説」とも呼ばれています。

何故胎児期の栄養不良が成人になってからの生活習慣病に結びつくのか?の問いについては明確に答えることは難しいのですが、まず低栄養によってDNAの突然



図1 食生活改善普及月間ポスター(厚生労働省HPより)

変異が誘発されることは無いので遺伝子の変異によるというのは考えにくいということになります。それ以外の原因としてエピジェネティクスの関与が考えられますが、臨床的に証明するのが困難で、以前行われた動物実験を紹介します。それは妊娠ラットの子宮動脈結紮により血流を半減させ低栄養にして出生させたラットに通常の栄養状態で飼育すると、成長後には2型糖尿病が発症したというものです。このモデルラットの膵臓β細胞(血糖を下げるインスリンを分泌する)において、その機能を制御する転写因子Pdx-1遺伝子の発現が、ヒストンの脱アセチル化やDNAメチル化などのエピジェネティクス制御により抑えられ、インスリンの分泌不全から2型糖尿病

が発症したことが証明されたのです。つまり、動物実験により胎児の低栄養がエピジェネティクスの関与により成人の生活習慣病(2型糖尿病)を引き起こしたことが示されました。

医療ドラマ「対決」と 映画「廃用身」



図3 月村了衛、作「対決」(光文社文庫表紙)

この春、興味のある社会派ドラマと映画を観たので、その元となる小説も併せて紹介します。

1つは今年4月にNHKBSでやっていた「対決」というドラマで、原作者は月村了衛氏です(図3)。2018年に世間を騒がせた「東〇医大」における「女子受験者の試験得点を一律減点する」ということや一部の受験者の裏口入学を公然と行っていた事件の報道を題材にしたものです。特に前者の「女子受験者の一律減点」については、当時の記事によると「女性は妊娠、出産のためにすぐに辞める、産休や育休をとるため即戦力にならない」ことを理由に女子学生の比率を低く抑えるための戦略であったようです。さらに2004年に導入された「新研修医制度」が、厚生労働省の思惑に反し、地方の病院で働くのを嫌がった医師が多くなったことが拍車をかけたとも指摘されており、当時の医療における問題を鋭くえぐる優れた社会派小説になっています。医大が欲しいのは少々頭が悪くても体力があって休んだりの体育会系の男子(特に外科系)ということのようで、このことを考えると逆に我々男性医師は

出生数及び出生時体重2,500g未満の出生割合の推移

この20年で、出生数は減少しているが、低出生体重児の割合が増加している。

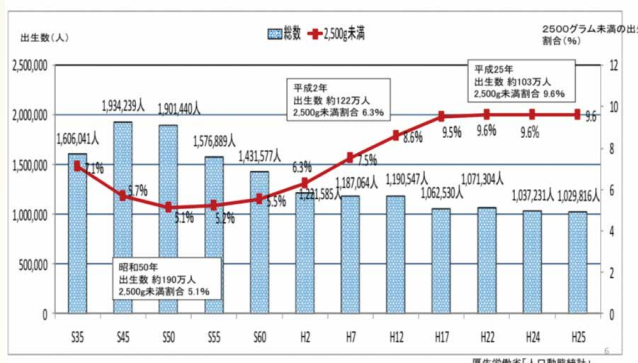


図2 近年出生総数は減っているが低出生体重児(2,500g以下)の占める割合が増えている(厚生労働省「人口動態統計」より)

微妙な気持ちになります。しかしながら、以前から大学医学部や医大の受験競争は熾烈で、自分の過去を振り返ってみても1点でも稼いで何とか受かりたいと必死で勉強するわけで、その努力をこのような大学の意向で無視されるのは、大きな失望と憤りにならざるを得ません。お金を払ってみる映画とは異なり、お茶の間ですでに放映されたテレビドラマですのでネタバレをしますと、医科大学理事(鈴木保奈美)が大学を最初は擁護する側として登場し、この疑惑を暴く新聞記者(松本若菜)の対決がテーマで、その他様々な立場や思惑を抱く多くの人間が絡むというもので深く考えさせられる作品でした。

一方、「廃用身」は、私の大学の同級生の久坂部羊氏原作、染谷将太主演の今年5月に封切られた映画です(図4)。久坂部氏は以前福山医療センターに講演に来てくれたことがあり、今や脂の乗り切った医療系作家です。ネタバレしない程度に内容を紹介すると、「廃用身(脳卒中などにより麻痺して回復の見込みのない手足など)」の手術などを巡るフィクションですが、これも老人医療における現代の課題を考察する優れた作品です。



図4 映画「廃用身」(映画公式サイトより引用)

作曲家が曲を作る謎

最後に音楽の話をしてします。

作曲家が曲を作るとき、どのようなプロセスで作曲するのでしょうか。私が中学生の時に見た「チャイコフスキー」という映画(1970年ソビエト連邦)では、プロローグで少年だったチャイコフ

スキーが「天から音楽が降ってくる」といって泣きながら階段を降りてくるシーンがあり、それが印象的で今でもはっきり覚えています。モーツァルトは書き直した痕跡がなく楽譜を一気に書いたらしいです。いわゆる「天才」と呼ばれる人は全く何もなかったところから、いきなり新しいものを創造するのです。これまでのデータを基に想像するのは、AIと同じになりますが、AIからは天才は生まれないと願っています。



チャイコフスキー

連載

No.145

事務部だより

『砂』

みなさん『砂』といえばどの県を

思い浮かべるでしょうか。多くの方は

『鳥取砂丘』がある鳥取県をまず頭

に思い浮かべるのではないのでしょうか。鳥取砂丘では、砂丘を歩いて砂を踏みしめたり、砂の美術館で砂の彫刻を鑑賞したりと、さまざまな形で砂を楽しむことができますが、私の前任地である鳥根県にも、砂にまつわる観光スポットがありますのでご紹介いたします。

今回ご紹介させていただくのは鳥根県大田市にあります『仁摩サンドミュージアム』です。

福山市から車で向かう場合には約2時間30分、公共交通機関を利用する場合には新幹線・高速バス・電車を乗り継いで約4時間30分で到着します。最寄りの仁万駅周辺はのどかな風景が広がっており、駅から徒歩約10分でミュージアムに着きます。

到着してまず目を引くのが、ピラミッド型のオブジェです。このオブジェの中には、仁摩サンドミュージアム最大の見どころである『世界最大の一年計砂時計』が設置されています。砂が落ちるスピードは温度によって変わるため、コンピュータで制御することで正確に時を刻んでいるそうです。アナログとデジタルが融合した仕組みは現代的で、とても興味を引かれました。

そのほかにも鳴り砂を棒で突いて「キュッ」と鳴る音を聞くことができるコーナーや、砂を顕微鏡で観察することができるコーナー、サンドアート

業務班長

岡本 誠司



を体験できるコーナー等があります。また、入館者は月ごとにイラストが変わる砂絵の台紙1枚を受け取ることができ、体験コーナーで砂絵づくりを楽しめます。

鳥取砂丘とはまた違った形で『砂』の魅力に触れられる施設ですので、鳥根県を訪れる機会がありましたら、ぜひ足を運んでみてください。

最後に、検索サイトで「福山市 砂」というワードで検索してみたところ、「砂留」という歴史的な砂防施設があることを知りました。天気の良い日に、運動がてら訪れてみたいとひそかに計画しています。



Staff introduction

職員紹介

今年度採用・転入者となった職員の自己紹介を掲載いたします。

看護部

2A病棟



2A病棟

せとみつみな
瀬戸光美奈

2A病棟に助産師として勤務している瀬戸光美奈です。現在は妊婦さんや褥婦さん、赤ちゃんのケアを中心に学びながら、日々業務に取り組んでいます。まだ経験は浅いですが、お産や育児という大切な時期に寄り添い、安心して過ごしていただけるような助産ケアを目指しています。これからも知識と技術の向上に努め、信頼される助産師へと成長していきたいです。

2A病棟

もりはら
森原菜乃

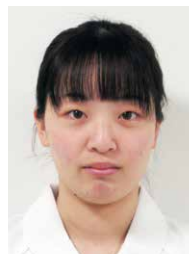
2A病棟に助産師として入職しました、森原菜乃です。先輩方にご指導していただいたことを次に生かせるよう、日々の業務を振り返りながら頑張っています。患者さんの小さな変化にも気づくことができる高いアセスメント力と技術を身に付け、積極的に患者さんとコミュニケーションを取りながら、1人1人に丁寧に向き合うことを大切にしていきたいです。

2A病棟

さくらだ
桜田奈子

2A病棟に助産師として入職した桜田奈子です。現在は日々の業務を覚えながら、先輩のご指導のもと知識・技術を習得し経験を積み重ねています。妊産褥婦さん一人一人に寄り添い、入院中から退院後も安心して過ごしていただけるような関わりを大切にしながら、信頼される助産師を目指して成長していきたいと思っています。

2A病棟

たけはら
竹原生祥

2A病棟に配属になりました看護師の竹原生祥です。日々覚えることが多い中でもできるだけ主体的に行動し、分からないことや迷うことがあれば先輩看護師に相談しながら学びを深めています。今後は、患者の疾患や治療の目的を理解し、必要な観察項目の追記や患者の状態に合わせたアセスメントができるようになりたいと思います。

2B病棟



2B病棟

いしだ
石田咲

小児病棟に配属になりました石田咲です。私が目指す看護師は患者の気持ちや訴えの変化にいち早く気づき、不安な気持ちを軽減させてあげる看護師です。そのために、アセスメント能力を高め正常な状態と異常な状態を的確には判断できる知識と観察力を身につけていきたいです。また、子供だけでなく付き添う家族への精神的なサポートを大切にしていきたいです。

2B病棟

しのはら
篠原結愛

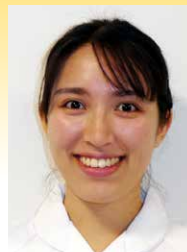
小児病棟に配属になりました篠原結愛です。5年一貫校を卒業し看護師になりました。入職して3ヶ月。まだまだ分からないことが多く、一つ一つに時間がかかってしまっていますが、少しでも早く業務に慣れ、患児やその家族との信頼関係を構築する関りができるように頑張りたいです。また、患児の小さな変化に気づき、患児や家族が不安なことや心配なことはすぐに相談してもらえる存在になりたいです。

Staff introduction



2B病棟
すなだ みらい
砂田 胤来

がんばりたいことは、業務に慣れていきつつ、患児・家族とのかかわりを大切にし、安全な行動をすることです。業務だけでなく、患児と家族の身体的、心理的苦痛にも寄り添える看護をしていきたいと思っています。抱負は、安全に看護をするとともに、患児・家族の抱える様々な苦痛に寄り添い、それらを少しでも緩和できるよう、またこの看護師でよかったと思ってもらえるよう行動することです。



GCU
さとう まなみ
佐藤 愛実

4月から、GCUの配属になりました佐藤愛実です。患者さんご家族に安心してもらえる看護師になるため、日々疾患や看護について学んでいます。食べることが好きで、福山のおいしい食材を使いご飯を作り食べることで、日々の活力にしています。日々学ぶことが多く大変ですが、精一杯努力して頑張っていきたいと思っています。



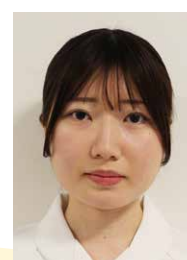
GCU
ふじわら あやか
藤原 采香

この度、GCUに配属となりました藤原采香です。趣味は散歩やカフェに行くことで、休日に散歩したり気になるカフェに行ったりしてリフレッシュしています。GCUでは日々赤ちゃんについて学び、看護をすることができて嬉しいです。赤ちゃんやご家族に寄り添った看護が提供できるよう、日々努力していきますのでよろしくおねがいします。



GCU
ほりかわ さや
堀川 咲弥

この度、GCUに配属となりました堀川咲弥です。趣味は音楽や映画鑑賞で、休日に好きな音楽を聴いたり、映画を見たりしてリフレッシュしています。根拠を持って安全な看護を実践できるよう、1つ1つの経験を大切にしながら日々頑張っています。赤ちゃんやご家族との関わりを大切に、温かい看護を提供できる看護師を目指しますので、よろしくお願いします。



GCU
かいほら なぎさ
海原 風紗

この度、GCUに配属となりました海原風紗です。休日は友人と全力で遊ぶことや、温泉巡りをして癒やされています。私は、赤ちゃん一人ひとりの状態をよく観察し、その子に合わせたケアができる看護師になりたいです。また、ご家族に寄り添い信頼される看護師を目指しています。日々学ぶ姿勢を大切に、成長していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



NICU
きしだ いおり
岸田 伊織

この度、NICUに配属となりました岸田伊織です。山口県から来ました。休日は、海にドライブに行ったり、家で映画やドラマを見て過ごしています。日々の看護では大変なことばかりですが、赤ちゃんに癒やされながら頑張っています。新生児は変化が目に見えて分かり、毎日やりがいを感じています。今は日々の看護で精一杯ですが、児や家族の気持ちを汲み取り寄り添える様な看護ができるようになりたいです。



NICU
いけがみ そら
池上 青空

この度、NICUに配属となりました池上青空です。最近の楽しみは、実家で飼っているトイプードルとドックランに行き、一緒に運動することです。毎日新しいことを覚えたり、泣いている赤ちゃんをあやしたりすることは大変ですが、日々先輩方にご指導いただきながら頑張っています。これから、必要な知識や技術を身につけ、赤ちゃんの小さな変化に気づけるよう努力して行きたいと思っています。

Staff introduction



NICU
とだ まの か
戸田 真乃茄

この度、NICUに配属になりました戸田真乃茄です。普段は音楽を聴きながらイラストを描く事を趣味としています。最初は赤ちゃんに触れたりすることに不安を感じていましたが、日々看護していくことで不安よりも赤ちゃんやそのご家族が安心して退院できるように支えたいと思うようになりました。退院を見据えた看護が行えるよう、児やご家族のできることを見つめ支援していきたいです。



NICU
ごとう こ はる
後藤 胡春

この度、NICUに配属となりました後藤胡春です。尾道市の向島出身です。休日は趣味のバイクに乗って様々な都道府県にツーリングに行ったり、家で料理を作って過ごしています。日々看護を行っていく中で、小さな変化に気づき関わっていくことはとても難しいですが、先輩方からご指導を頂きながら毎日学んでいます。今後も赤ちゃんが、快適に安全に過ごせるよう、技術・知識の向上に努めていきます。



3病棟
かね こ ゆい
金子 結

3病棟に配属になりました金子結です。毎日新しい学びの連続ですが、先輩方に支えていただきながら頑張っています。患者さんとのかわわりを大切に、一人ひとりの思いやその人らしさに寄り添える看護を目指しています。これからも知識と技術を身につけ、患者さんから信頼される看護師になれるよう努力していきたいです。



3病棟
ます はら しょう あ
升原 翔亜

消化器外科病棟で勤務している升原翔亜です。看護師4年目ですが消化器外科では今年からの1年目です。毎日、疾患・術式・ドレーン管理など覚えることが多く、頭の中は常に勉強会状態です。患者さんの小さな変化に気づき安心して治療に向き合えるような看護を提供出来るよう日々学び成長していきたいと思っています。まだまだ未熟な部分もありますが前向きに挑戦していきます。



3病棟
こう や なつ き
神谷 夏希

3病棟に配属になりました神谷夏希です。看護師になって約3カ月が経ちました。まだまだ慣れないですが毎日頑張っています。今、頑張っていることは変則的な勤務がある中で自分が体調をコントロールすること、限られた時間の中でどのように患者さんの状態を把握するか自分で考えていくことです。更にこれからを焦らず確実に手技を行えるようになるためにたくさん経験をつんでいきたいです。



3病棟
かね ひら あか ね
金平 紅音

3階消化器外科病棟に配属された金平紅音です。毎日新しい学びを得ながら頑張っています。術前・術後の患者さんは痛みや不安を抱えていることが多いため、その気持ちに寄り添い安心して過ごしていただける看護師になりたいと思っています。現在は患者さんの小さな変化にも気付けるよう、先輩方に教わりながら観察力を磨き一つひとつの経験を大切にしていきます。



ICU
みやもと たか み
宮本 孝美

ICUに所属している宮本です。現在入職して3カ月が経ちましたが、泌尿器や肝胆脾など様々な疾患の術後の全身状態を見て、どんな看護が必要なのか考え、日々の業務を覚えようと頑張っています。今後は、患者さんの疼痛や不安な気持ちに応えることができるようになりたいです。そのためにフィジカルアセスメントを十分に行った上で先輩看護師さんの動きや声かけを見ながら、個性を含めた声かけを行っていききたいです。

Staff introduction



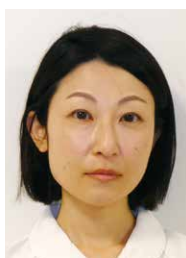
ICU
ふじ た けん と
藤田 健人

3病棟ICUに配属された藤田です。出身は福山で、大学は呉を出たのですが福山で働きたく帰ってきました。趣味は、アウトドアで友達と釣りやキャンプに行くことです。今は、先輩の姿から患者さんや家族への分かりやすい言葉での説明により、術後の不安を軽減していけるような関わり方を学び実践しています。今後は、患者さんだけでなく、その家族もケアの対象として治療に対する不安を軽減できる看護師になっていきたいと思っています。



ICU
やま ひら しゅう じ
山平 修次

先輩についていくのに必死ですが、分からないことがあっても先輩方が優しく教えて下さり毎日頑張っています。僕は、疾患と症状の結びつきが苦手なので、分からないことは日々調べて勉強しています。仕事では、業務を覚えたり、患者さんの負担が少しでも軽減できるように寄り添った声かけを意識して実践しています。休みの日は趣味に打ち込んでいます。仕事を始めて、休日はしっかり楽しむことも大切だと思うようになりました。将来は、認定看護師や専門看護師を目指して頑張っていきたいです。



5A病棟
うわ すみ や え み
上住谷 絵美

他施設から4月に5A病棟配属となりました。患者さんやご家族は不安を抱えながら日々を過ごしておられます。そのような患者さんが安心して入院生活を送れるよう、一人ひとりの思いや背景に寄り添い、患者さんやご家族と丁寧な関わりを心がけています。今後も患者さんやご家族との信頼関係を大切にし、多職種と連携しながら、その人らしさを尊重した看護を実践していきたいです。



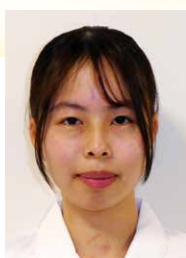
5A病棟
あか お る な
赤尾 留奈

この度、5A病棟に配属になりました赤尾留奈です。入職して数か月が経ち、慣れない業務に戸惑うこともあります。先輩方に支えていただきながら日々学んでいます。患者さん一人ひとりの気持ちに寄り添い、不安や苦痛を少しでも軽減できるような看護を実践したいと考えています。知識・技術の向上に努め、信頼される看護師を目指して頑張ります。



5A病棟
よし はら れ お
吉原 伶桜

5A病棟に配属されてから2か月が経ちました。現在は看護技術の習得だけでなく、患者さんの病態や治療を理解し、根拠を持って看護を実践できるよう学習を重ねています。今後は患者さん一人ひとりの思いや生活背景にも目を向け、その人らしさを大切にしたい看護を提供できるよう努めていきたいです。初心を忘れず、信頼される看護師を目指して頑張ります。



5A病棟
み とう
三藤 ほのか

5A病棟に配属となりました、三藤ほのかです。看護師になって2ヶ月が経ち、現在は優先順位を考えながら進めること、イレギュラーな事があつた際にすぐに先輩に相談し、対応できるよう頑張っています。祖父の闘病生活を通して、患者さんの不安な気持ちを少しでも和らげる事ができる看護師を目指すようになりました。日々の患者さんとの関わりを大切にしながら、少しでも早く理想とする看護師像に近づけるよう努力していきたいです。



5B病棟
よし おか み さき
吉岡 実咲

5B病棟新人吉岡実咲です。好きなことはライブや旅行に行くことです。現在は、患者・家族とのコミュニケーションを大切にしながら、丁寧に看護を行えるように頑張っています。今後は、分からないことは積極的に先輩たちに相談し、学びや経験を深めながら、患者や家族の気持ちに寄り添い、安心して入院・治療が行えるような看護を提供出来るように頑張りたいです。

Staff introduction



5B病棟
なつめだ しゅ おん
棗田 珠音

この度5B病棟に配属された棗田珠音です。趣味は、映画鑑賞や読書、散歩、ゲーム、カフェ巡りやスイーツを食べることです。旅行も好きで、いつか全国すべての都道府県を巡ることを目標にしています。患者さん一人ひとりに寄り添い、不安や思いに耳を傾け、安心と笑顔をお届けられる看護師を目指して、頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



5B病棟
やま かわ る な
山川 月菜

はじめまして。4月より福山医療センターの看護師として5B病棟へ配属になりました山川月菜です。趣味はおいしいものを食べることで、甘い物、辛いもの、酸っぱい物、脂っこい物なんでも好きです。目標は信頼される看護師になることです。これから日々成長していきます。よろしくお願いいたします。



5B病棟
たなべ な つき
田邊 渚月

4月から入職しました、田邊渚月です。看護師一年目として、日々学びながら勤務しています。知識や技術の習得だけでなく、優先順位を考えた時間管理や根拠に基づいた看護実践が出来るよう努力しています。相手の立場に立って考え、笑顔と温かい声かけを忘れずに安心感を与えられる看護師へ成長していきたいです。



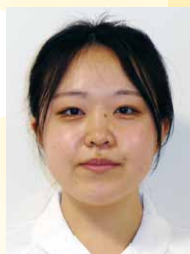
5B病棟
さ と う り ほ
佐藤 里帆

5B病棟所属 広島国際大学卒業 佐藤里帆です。私は、患者さん一人ひとりに誠実に向き合い、嘘をつかず、信頼関係を大切にしたい看護師を目指しています。日々の業務では、受け持ち患者さんとの関わりを大切にしながら、先輩方からのフィードバックや自分自身の振り返りを通して、課題を見つけ、主体的に学びを深めています。今後も、日々の積み重ねを大切に、患者さんだけでなくスタッフからも信頼される看護師を目指して努力していきます。



6病棟
なか や ま ま い
中山 茉唯

6病棟配属になりました中山茉唯です。入職し、先輩方に丁寧にご指導いただき、少しずつですが日々学びが増えています。私は、あらゆる診療科において、患者さん1人1人の状態や背景に応じ、その人にとって最善の観察とケアを提供できる看護師を目指しています。1日1日を大切に、何事においても根拠を考えて実践できるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



6病棟
ほ う し ょ ゆ り
寶諸 有梨

6病棟配属になりました寶諸有梨です。看護師として働き始めてから、先輩方に知識や技術を教えていただきながら、自分の力にできるよう日々努力しております。少しずつではありますが、自身の中で成長を実感できる場面も増えてまいりました。今後は先輩看護師と適宜報連相を行い、チームで統一した看護を提供できるよう努めてまいります。また、タイムスケジュールを臨機応変に調整しながら、患者様一人一人に寄り添い、安らぎのある看護を提供していきたいと考えております。



6病棟
おか ざ き か い か
岡崎 開花

6病棟配属になりました岡崎開花です。混合病棟で多くの疾患や病態に触れる中で、症状から病態を考えアセスメントに繋げる力を身に付けたいです。そのために、日々の学習を通して疾患理解を深め、患者さんの生活背景を日々のコミュニケーションや情報収集を通して理解し、退院支援に繋げる力を身に付けられるように頑張っています。

Staff introduction



6病棟
ようち ゆき
陽地 由希

4月から6病棟に配属になりました。陽地(ようち)由希です。趣味はB'zのライブに行くことです。看護師経験はありますが、初めてのことも多く戸惑うことも多いですが、スタッフの方に聞きながら日々頑張っています。これまでの経験を活かしながら、患者様、ご家族を一番に考え、その人らしい生活が送れるように看護師として日々努力をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



7病棟
やまもと めい
山本 愛唯

4月より福山医療センターに入職しました、看護師の山本愛唯と申します。新人看護師として、一日でも早く病棟でひとり立ちができるよう、日々学びを深めながら経験を積んでいます。先輩方からご指導をいただき、患者さん一人一人に必要な看護を、根拠を持って実践できるよう努めています。今後も知識や技術を身につけ、患者さんに信頼される看護師を目指していきたくて考えています。また、患者さんにとって最善の看護は何かを常に考えながら、日々成長していきたくて思ひます。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくおねがいいたします。



7病棟
いいだ かおる
飯田 薫

7病棟の飯田薫です。配属されてから約2ヶ月が経ち、先輩方からご指導をいただきながら、術後の観察や疼痛管理、離床支援を通して患者さんが安心して治療に取り組めるよう関わることを大切に日々頑張っています。これからも知識や技術を身につけながら一人ひとりに寄り添い、信頼していただける看護師を目指し努力していきます。よろしくお願ひします。



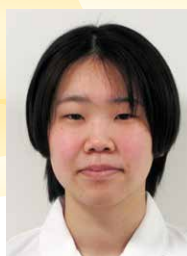
7病棟
よしはら ゆうき
吉原 悠妃

4月より福山医療センターに入職いたしました、看護師の吉原悠妃と申します。私は、高校・大学と6年間を岡山で過ごし学んでまいりました。そして、このたび、地元である福山に戻り、地域の皆様の医療や看護に携わることができることをとてもうれしく思っております。趣味は、自然に触れることや温泉、カフェ巡りです。休日には美味しいものを食べたり、新しいカフェなどを訪れたりして、心身共にリフレッシュしています。まだまだ未熟で至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、一日一日を大切に、先輩方からのご指導や助言をしっかりと学びに変えながら、日々努力を重ねて参ります。そして、常に「患者様に深く寄り添い、笑顔を与えられる看護師」を目指し成長していきます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



手術室
ふじい そうた
藤井 壮太

この度、手術室に配属されました看護師の藤井壮太です。手術室での毎日は学生時代に学んだことよりもはるかに多くの知識が必要であり、刺激的かつ新鮮な環境です。しかし、看護師として大きく成長できることを今日までの二か月で感じました。看護師一年目で自分自身が理想とする像は曖昧ですが、多くの医療者・患者さんとの関わりを通して一人前の看護師になれるよう精進して参ります。



手術室
どい あやね
土井 彩稔

この度、手術室に配属となりました土井彩稔です。まだ分からないことが多く、覚えることや学ぶことばかりですが、先輩方のご指導を受けながら少しずつ成長していきたくて思ひます。今年は日々の手術介助技術を理解しながら行うこと、患者の安全を守れることを目標にしています。そのために分からないことは先輩に確認したり、手術による合併症とその予防、患者さんへの関わり方を勉強しています。一生懸命取り組んでいきますのでよろしくお願ひします。



手術室
いしはら いちか
石原 一加

4月から手術室に配属になりました石原一加です。広島県の看護学校を卒業しました。これから、患者さんの安心・安全第一に考えた手術を行っていただけるように日々の仕事を通して患者さんの不安を軽減できる看護師を目指して頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

世界の病院から 連載153 Hospitals around the world

病院見聞記・台湾編 No.81

国立臺灣大學醫學院と附設醫院(4)

National Taiwan University College of Medicine & National Taiwan University Hospital (4)

国立臺灣大學醫學人文博物館

Museum of Medical Humanities, National Taiwan University

順天堂大学
健康データサイエンス学部
非常勤講師(医療経営論)

福永 肇

Hajime Fukunaga



■医学系博物館

医学・医療を学び、従事するに際しては「医学人文(medical humanities)」への幅広い知見を持つことが必要とされる。ゆえに全国各地に医学系博物館がある。日本には医学系・歯学系・薬学系の博物館と薬用植物園が212あるという(落合知子編集『医歯薬学系博物館事典』、雄山閣、2021年)。西欧には充実した医学史博物館が多そうだ(石田純郎著『ヨーロッパ 医科学史散歩』、考古堂、1996年。他)。この『世界の病院から』でもアメリカやロシア、韓国の医学史博物館を紹介してきた。台湾も筆者は5か所の医学博物館を訪れており、「高雄醫學大學校史暨醫學人文館」はすでに紹介している。各館とも運営・収集の目的、焦点を絞り、制約ある予算、スペースの下にて工夫を凝らした展示をしていた。今回は台北の「国立臺灣大學醫學人文博物館」を見学したい。

■国立臺灣大學醫學人文博物館



写真1: 国立臺灣大學醫學人文博物館。この博物館の建物そのものが、台湾医学史の生き証人である。

写真1は国立臺灣大學醫學人文博物館(旧・臺灣總督府醫學校の校舎)。1907年建設開始、1913年完工の建物。爾来、多くの医師がここで学び、巣立っていった。1930年や1945年(空襲)での火災修復工事により屋根のスタイルは竣工時とは違っており、当初のたたずまい(写真2)とは相違する。第二次大戦後は国立臺灣大學醫學院(=医学部)の二號館(教室)と事務室に使用され、大講堂は大ホールに改称された。その後、建物は学校の管理部門として使われた。

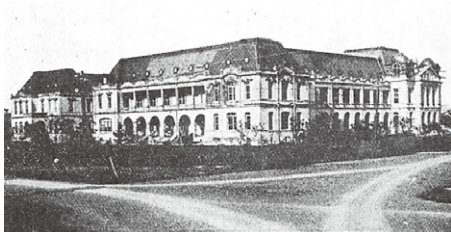


写真2: 臺灣總督府醫學校の校舎。この醫學校は台湾人医師の養成目的で創設された。手前の校舎が現在の醫學人文博物館。右端が玄関。

国立臺灣大學では1981年から醫學院と附設醫院の大規模な改築拡張工事が始まり、大ホールなどの古い建物群は二號館を残して解体・撤去された。1985年に新築の醫學院基礎ビルが機能を始めると二號館は封鎖になる。計画では二號館を撤去して国際会議場や情報センターを建てる予定であった。しかし予算が付かず、二號館は長い間放置され、廃墟化していった。1992年、醫學院の謝博生教授から、旧校舎の二號館は医学部キャンパスにて唯一の歴史的建造物であり、国立臺灣大學醫學院の

歴史と精神のシンボルとして修復・保存すべきであるとの提案がなされた。卒業生からの寄附金が募られ、国際会議場の予定地を変更させた(現在の醫學院國際會議中心のビル)。1995年、謝博生教授の学部長就任後、醫學院二號館の改修工事が行われ、1998年に「国立臺灣大學醫學人文博物館」として開館(写真1)。醫學人文博物館の周辺は国立臺灣大學醫學院のシンボルツリーの楓(フウ)の疎林の庭園になり、台北の東門(景福門)の隣にあるので「景福園」と命名された。今回はこの醫學人文博物館を見学していく。



写真3: 「醫學人文博物館」の現在の入口まわり(昔の勝手口)。樹木は卒業生が贈った「楓(フウ、タイワンフウ)」の木。日本の楓(カエデ)とは違う。

この醫學人文博物館は「臺灣總督府醫學校」⇒「醫學專門學校」⇒「臺北帝國大學醫學部」⇒「国立臺灣大學醫學院」の校舎であった。すなわち台湾医学教育の本流で活躍し、現在は「台湾医学史の殿堂」として、台湾の医学史料を保管、展示している。2018年の日本には台湾医学史(通史)の書籍はなかった。筆者はCOVID-19流行期を挟んで台湾の病院・医学部の現地調査を6回行ったが、台湾に行く度にこの「醫學人文博物館」には必ず足を運んだ。この博物館の展示から台湾医学史についてとても多くの事を教わった。



写真4: 医学部第1994年卒業生の記念植樹プレート。

「景福園」には、写真4のような卒業記念植樹プレートが多く立っていた(例:写真3)。「楓香(ふうこう)」は楓の木から出る樹脂やその香りを指し、同窓会の合言葉と推測される。「杏暖楓城」の単語は桃源郷、アルカディアのような理想郷を意味するのであろうか。

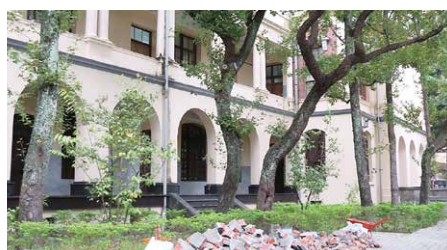


写真5: 醫學院の校舎二號館(1913年に竣工)。ルネサンス様式。右端が玄関部分。2023年の訪問時には修復工事が行われていた。工事で出た手前の残滓ブロックの1つを頂戴し、日本で筆者の宝物になっている。ブロック片は当時の薫りを仄かに放っている。

臺灣總督府は大きな期待と深い思いやりをもって、医学を学ぼうとする台湾人の生徒たちにアーチ壁を多く取り込んだ優雅な美しい校舎を与えた(写真5)。醫學校であったときは、昼過ぎの1時間の間、校舎から出て来た生徒たちで庭は活気に溢れた。しかしその時間が過ぎると再び静かな庭にもどり、人影一人見えなくなる。醫學人文博物館のキャンパスに佇んでいると、そのような風景が目の前に展開する。

■大講堂(大ホール)のリフォーム

戦前の大学、専門学校等の高等教育学校では学校のシンボルとして「学塔」「時計台」とともに欧州の大学に倣って「講堂」を重視していたと筆者は捉えている。キャンパスに昔の講堂が残り、大学のシンボルになっている例も多い。有名な講堂に「安田講堂(東大)」「大隈講堂(早大)」「兼松講堂(一橋大)」「出光講堂(神戸大)」などがある。外国の大学ではlecture hallやauditorium、assembly hall、theaterといっている。

2018年、最初の病院見学で台湾を訪れたとき、臺灣醫學史學會の張秀蓉理事長(国立臺灣大學退休教授)が醫學人文博物館を案内して下さった。張秀蓉教授から写真6の外壁の歴史的云われについて教わった。大講堂(戦後は「大ホール」に改称)は本館と共に1913年に竣工。1914年から解体されるまで、長きにわたり臺灣醫學會年次會の会場となった。また臺北公會堂(現・臺北中山堂)が1936年に出来るまでは台湾最高のコンサートホールでもあり、由緒をもつ建物である。1981年に始まった医学部と病院の改築拡張工事に伴って、他の古い建物群と一緒に大ホールも取り壊されたが、二號館に接した正面ステージと周囲の壁(奥壁)は残り、その後修復・保存された。その結果、昔は室内であった大講堂正面の奥壁が、現在では建物の外壁ファサードになっているという珍しい経歴を持つ壁となる。ステージの奥行は実際にはさほど無いのだが、遠近法の技法で厚みを感じる。建築技巧が上手い。



写真6: 臺灣總督府醫學校&国立臺灣大學醫學院の大講堂(大ホール)の外壁ファサード。もともとは大講堂正面ステージと周囲の壁(奥壁)であった。



写真7: 臺灣總督府醫學校時代の大講堂(醫學人文博物館の展示写真より)。



写真8: 醫學人文博物館と景福園の一部
(醫學人文博物館の展示写真より)。

写真7の講堂ステージと周りの内壁の部分が現在は写真6,8の外壁になり、写真7のフロアや座席部分が写真8の芝生になっている。内壁を外壁に変換するという、奇術のような、とても感心するリフォーム工法である。この工法を閃いた人は、一体どこの、誰であったのだろうか。

■醫學人文博物館の館内



写真9: 旧・醫學学校の(内側から見た)玄関ドアと玄関ホール。学問の府、静寂でアカデミズムな雰囲気が漂う。



写真10: 醫學院の旧・玄関ホール(写真9とは逆方向)。
厳かで神聖な空間。このような優美で格調が高く、品格がある学び舎だと集中して勉学をしなくなる。

醫學人文館の玄関ホール(写真10)には臺灣總督府醫學学校の歴代の3人の校長(山口秀高、高木友枝、堀内次雄)と3人の元・國立臺灣大學醫學院院長(杜聰明、魏火曜、李鎮源)の胸像が並ぶ。この玄関ホールには蔣介石の像が長らく鎮座していたが、2008年の醫學人文博物館の開館にあわせて撤去され(公館キャンパスの「校史館」に移管)、歴代校長の胸像に替わった。写真10での一番奥は階段ホールで、前々回に紹介した醫學専門部卒業生の邱文雄作「醫師之像」が置かれている。



写真11: 旧・校舎(現・博物館)の1階の廊下。

写真11をご覧いただきたい。校舎内の廊下が、僅かの斜角を持ちながら左に緩やかに弯曲していく設計の意匠に筆者は気が付いた。柱の梁も優美だ。直線と曲線が織りなす空間が美しい。弓なりの円弧を描いていく動きが感じられる美しいデザインである。これは設計者の密かな冒険であったのだろう。筆者の発見と、直線と微妙なカーブが描く絶妙の美しさを博物館のスタッフの人に説明した。「なるほど。そういわれて

見れば」と(熱のない)賛同の返事であった。余談であるが、金沢大学附属病院の10階建ての病棟が弓形に緩やかに弯曲している。そこに入院した時、台湾のこの廊下を思い出した。



写真12: 金沢大学附属病院西病棟6階の弯曲廊下(2020年8月1日写す)。反対側には東病棟の弯曲廊下が伸びている。

病棟の弯曲廊下は入院生活におけるストレスを和らげることに貢献しそうである。また長い直線よりも弯曲している廊下の方が、病棟ナースの目的病室までの距離目測がし易くなると思う。カーブでは人は常に前方に注意して歩くので、廊下での衝突事故はなくなる。



写真13: 醫學人文博物館の2階。この廊下は直線。



写真14: 「臺灣近代 公共衛生醫療 發展簡編」の展示室。
筆者には宝の山。



写真15: 1945年11月に閉校した臺北帝國大學醫學部(1935～45年)の看板。卒業式は8回催行され、卒業生数は226人(内、日籍日本人135人、台籍日本人91人)。



写真16: 受難者。上段の18人は「二二八事件」(1947年)、下段の17人は「白色テロ」(1949-87年)での國立臺灣大學醫學院関係の受難者。判明分のみ。

第二次大戦後の台湾(蒋介石)は大陸の共産党(毛沢東)と睨み合った。中華民國國民政府は台湾人(本省人)の弁護士、医師、教師、新聞記者といった読書人、知識人は将来、反政府運動を行う可能性を持つ人物であるとの位置付けを行い、潜在的「共産党員」との名目で逮捕し、処刑した。犠牲者の人数

は二二八事件が1万8千～2万8千人、白色テロが3～4千人と言われる。政府が市民を抹殺した。多くの医師も突然行方不明になり、戻ってこなかった(写真16)。台湾史における黒歴史。とても残念なことである。



写真17: ヘビ毒研究。6大毒蛇はクサリヘビが4種、コブラが2種。

台湾の山野には16種類の毒蛇がいる。咬まれると100歩歩まない内に死亡するという「百歩蛇(ヒャッポダ)」などの6大毒蛇が特に怖い(写真17)。臺北市混陽にある衛生福利部(≒日本の厚生労働省)本庁ビルの前庭の入口には黄色の「注意毒蛇毒蜂」の看板が立っている。すると誰も前庭に入ろうとはしない(写真18,19)。



写真18: 衛生福利部の本庁。
臺灣總督府松山(結核)療養所の跡地に建つ。



写真19: 写真18のプロムナード入口に立っている看板。

「毒と薬は紙一重」で、ヘビ毒の成分研究は、20世紀の医学の最先端分野であった。そして南国の臺北帝國大學、國立臺灣大學はヘビ毒研究で有名であった。ヘビ毒研究者でもあった醫學専門学校の杜聰明教授(薬理学)はニューヨーク滞在中の1926年にロックフェラー医学研究所の野口英世を訪ね、細菌学研究への助言と啓発を受けた。杜聰明は台湾人で初めて医学博士になり、臺北帝國大學の全学部、全期間を通じて唯一の台湾人(本島人)の教授であり、國立臺灣大學醫學院初代院長、高雄醫学校初代校長を、責任をもって務めた医学者である。若い時の杜聰明にとって野口英世は世界的な大医学者であった(二人とも京都帝國大學から醫學博士号を授与されている)。野口英世の米国での研究スタートはペンシルベニア大学のフレクサー博士研究室でのヘビ毒研究で、その成果が認められ、ロックフェラー医学研究所でのポストを得ている。日本で最も読まれている伝記は野口英世で、感染症と闘ったこの医学者のことを日本人で知らぬ者はいない。これは驚くことである。紙幣(千円札)の図案になった医師は野口英世と北里柴三郎の2名の細菌学者／感染症学者だけである。

この調査レポートは「JSPS科研費23K00259」の助成研究に付随する報告である。

Touring Journey



経営企画係
中島 正勝

晴れたらツーリング、暇さえあればツーリングの話

「雨の降る日の空は灰色だから、何だか少し寂しくなって誰かと話がしたくなる。電話をしよとダイヤル回し、回しかけてはふと気づく…」これ、太刀掛秀子の「雨の降る日はそばにいて」という漫画の一場面なんだけど、この時期になると決まって思い出すんだよね。封印した筈の「中二病」の記憶と一緒に、、、(汗)。まあ、今でも「異世界」のものが大好きだから何も変わってないっちゃ変わってないかな。そう言えばこの間、何時もの「異世界に行ったら本気出す(キリッ)」って嫁ちゃんに言ったら「いったい何時から、此処が現世だと錯覚していた？」って黒ベタのバックで微笑まれ、ついでに『此処が異世界なんだから、そろそろ本気出せや!!』って怒られた。いや、でも、女神さまからチート能力を何一つ貰ってないんだけど、、、(ゴッ)。

1. 晴れたら「ツーリング」に出かけよう

6月13日(土)、天気良さそうだったので日帰りツーリングに出かけようって事になった。んじゃ何処に行こうか?、バイクはどれにしようか?って少し迷ったけど、一週間前の土曜日には三瓶方面(三瓶温泉&三瓶バーガー)におつきなバイクで行ったので、今回は原付二人乗りで島根県邑南町の山中にある蕎麦屋に行くことで纏まった。

1) 気まぐれけーじのそば屋

此処は先週、三瓶方面へ行ったときGoogleMapで偶然見つけたんだよね。島根県産の蕎麦(自家栽培もしている)を自家製粉した「十割蕎麦」

気まぐれけーじのそば屋



Cake & Cafe イナダ



蕎麦とCafe

が自慢らしく、クチコミも4.6の高評価だし、バイク専用の駐輪場もあるし、雰囲気(ロケーション)も悪くない。片道約130Kmの距離は多少物足りないが、色々寄り道をすれば丁度良い距離と時間になるだろうって事で今回はココに決定。開店の5分前に到着したが、この日の先客(予約)は一組だったので直ぐに入店できた。

さて、何を食べようかと迷ったけど、冷たい『割子そば(二段)』と熱い『釜揚げそば』がセットになった「やくもぜん」を(二人とも)注文、蕎麦は殻ごと挽いた「挽きぐるみ」で、色が濃く香りと風味が強いのが特徴(マサカツくんはコッチが断然好き)だ。ちなみに嫁ちゃんは、殻を取り除いた「更科粉」だけを使い、色が白く上品な甘みと「喉ごしの良さ」が際立つ更科蕎麦が好みなのである。まあ、こればかりは好みなんだけど、殻を入れる入れないで、全くの別物になるのが蕎麦の面白いところなんだよね。あつ、話がそれたけど、味も内容もボリュームも大満足な蕎麦セットでございましたよ。

久喜床屋精錬遺跡



何も無い野っ原に案内版

風穴間歩(正田間歩群)

2) ランチの後のスイーツを忘れるな

女性とランチをする場合、スイーツがセットである事を絶対に忘れてはならない。ぶっちゃけ、女性が怒っているのは分かりづらいが「嬉しいそう」なのは(空気が読めない)俺たちでも分かるぜ!!。って事で、蕎麦屋からの復路ルート上に「Cake & Cafe イナダ」ってのを見つけておいたんだけど、最近のお店にしてはシンプルな外観だったので全く気がつかずに一度通り過ぎてしまったよ。

他に客がいなさそうなので恐る恐る中に入ると手作り感溢れる綺麗なケーキが並び、そのどれもがリーズナブルな価格でちょっとビックリ。これ、ケーキ屋さんだからこの値段で提供してるんだろうけど、喫茶として採算合うのかなあと要らぬ心配をしつつ、食後のひとときを二人で楽しんだ(計画どおり)。なお、店内はシンプルなコンクリートの打ちっばなしで、落ち着いた雰囲気が自分好みだったのは別の話。

3) 折角なので冒険もしてみよう

行きしな「久喜銀山遺跡」の看板(ノボリ)を所々で見かけたので気になっていた。今日はハンターカブなので寄ってみるか?って事で「久喜床屋精錬遺跡」の矢印に従って行ってみたけど、山肌に小さな窪み(精錬跡らしい)が沢山あるだけで、期待してたのと少し違ったかな。後日、久喜銀山遺跡について調べてみると、直ぐ近くに本命の遺跡がある事を知ったけど何処にもそんな案内版なかったぞ。



怪しいCafe屋と大成龍神社

4) 怪しいCafe屋と立身出世の大成龍神社

以前から気になってた「宇宙サロン世羅」って怪しさ満点のCafe屋に寄ってみた。店内のメニューを見ると、本日の珈琲の他に「龍珈琲(龍のエネルギーを感じたい方)」、「突き抜け珈琲(今より更にその先に突き抜きたい方)」って書いてある。あっ、これヤバイ場所に来てしまったんじゃない?って思ったけど、至って普通のお店だったので拍子抜けしてしまった。

Cafe屋の側には知人ぞ知る『大成龍神社』があり、信心深いマサカツくんは当然参拝させて頂いたよ。この神社は「大妻コタカ氏(日本における女子教育の草分けだけど知ってる?)」が創建に深くかわかり、この地から立身出世を成し遂げた者が多く出たとのことで、全国的にも有名な『出世神社』らしい(知らなかったけど)。取り敢えず「この年まで精一杯の努力をしたので、今後は実力以上の結果を与えて下さい。」と謙虚な願いをしてこの地を後にした。なお、近くには大妻コタカ氏の生家(移設)があり、そこを古民家レストランとして営業(要予約)しているようなので、そのうちランチでお邪魔したいと思ってる。

2. 暇さえあればツーリングに出かけよう

1) 大山にある「Cafeうさぎや」でランチ

四日後の17日(水)も晴れたので今日もツーリングへ。この日は深夜入りなので疲れたくない嫁ちゃんの希望から、約半年ぶりにR1300GSでのタンデムツーリングとなった。しかも、涼しい場所が良いとの事で行き先は「大山」だ。最初に書いたが、二週間前には島根県の「三瓶山」に



大山にあるCafeうさぎや

三瓶バーガーを食べに行ったので、今回は鳥取方面になったって訳だ。このお店、沢山のウサギさんがいるけど主張しすぎでないのが好印象。店内には昭和の曲(ポップス)が流れ、自分達世代には落ち着くお店だ。ところで、お昼時とはいえ平日だからと油断したら直ぐに満席となったので、土日のランチは予約した方が良さそう。

2) やまびこ市場・崖っぷちカフェ

6月28日(日)、この日の空模様はかなり微妙。まあ、雨が降ったらカッパを着れば良くなってノリで、二人して岡山県の山の中へとランチに出発だ。目的地は「やまびこ市場・崖っぷちカフェ」って場所なんだけど、「崖っぷちカフェ」「やまびこカフェ」は不定期営業、「手打ち割出そば(わるでそば)」は月一不定期営業らしく、行ってみないと分からないんだよね。結果、崖っぷちカフェが営業してたので、休憩がてら「サトウキビりん」を頂いた。でも、お腹は満たされなかったので、吹屋ふるさと村にある「スープカレーの店 つくし」でホルモンカレー(大盛り)を頂くことになってしまったのだった。

さて、そろそろ梅雨も明ける頃だし、今月はお泊まりツーリングに行けるかな。

やまびこ市場・崖っぷちカフェ



やまびこ市場・崖っぷちカフェ

Design
#114

「伝わるデザイン」

III MOURI DESIGN

毛利 祐規 / グラフィックデザイナー

【Profile】大阪、東京のデザイン会社勤務を経て、2011年に独立。福山市を拠点に、全国の企業やお店、ブランド等のロゴマーク制作と、それに伴うブランディングやブランド戦略、プロモーション等を専門に手がけています。



みなさまこんにちは。グラフィックデザイナーの毛利と申します。私は福山市を拠点に、全国の様々な分野のデザインを手がけさせていただいています。そんな中でも最も多く手がけているのは、企業やお店、ブランドなどの立ち上げやロゴマーク制作からたずさわるような「ブランディングデザイン」です。私が手がけた仕事等を通じて、デザインやブランディング、ブランド戦略、プロモーションの大切さや効果などをお伝えしていきます。

たかのオリジナル調味料 **ピンゴソース**
ロングセラーの
人気調味料です!

ピンゴソース
各都府県でネット
店舗・オンラインで
販売中です!

有限会社たかの
仕出し・弁当たかの / ピンゴソース
〒720-0313
広島県福山市沼隈町大字宮石989-1
Tel・Fax 084-987-0727

たかのWebサイト

仕出し 弁当
たかの
昭和三十四年創業

TAKANO Co., Ltd. CREDO

【企業理念】
みんなの食卓を笑顔に!
私たちは、食と人のつながりを通じて「こころの栄養」をみなさまにお届けし、たくさん笑顔を生み出していくことを常に心がけます。

【思い描く未来の姿(ビジョン)】
世界の「食卓サポーター」
私たちは、自社の商品やサービス、コンテンツやイベント等を通じて、多くの方々の「食」のお役に立てる存在であり続けられるよう、努めています。

Numakuma, Hiroshima JPN

【日々心がけること(行動指針)】

- ① 食で心身をすこやかにしよう
- ② 世のためになることをしよう
- ③ 暮らしと歴史を大切にしよう
- ④ たくさんの笑顔を生み出そう
- ⑤ 苦しい時みんなであなう
- ⑥ 描いた未来の姿につなげよう
- ⑦ がんばるみんなを応援しよう
- ⑧ 応援される自分たちでいよう

私たちは、人と人のつながりを大切に、「食」を通じてみなさまの暮らしを彩っていきます。そして、みんなの幸せを一緒に考え、互いを思いやり、助け合い、あらゆることに感謝し、思い「笑顔」をたくさん生み出していきます。多くの方に信頼され、安心していただき、応援される存在になれるよう、私たちは一日一日を大切に過ごしていきます。

■ 老舗お弁当屋さんのブランディング【2】

今回ご紹介させていただくのは、先月に続いて昭和34年創業のお弁当屋さん「弁当たかの」さん(福山市沼隈町)のクレジットカードデザインです。クレジットカードとは、企業や組織の「理念や行動指針」をまとめ、携帯できるようカードにしたもの

です。この度のブランディングのキーワードは【安心感】。このカードは、社内だけでなく、社外の方にも見ていただける体裁にすることで、より【安心感】を伝えることができる媒体として制作しました。自分たちで思いを共有するだけでなく、外に向けても思いを丁寧に伝えていくことはとても大切です。たかのさんは、関わってくださるみなさまが笑顔になってもらえることを常に考え、様々な取り組みをされています。

J.S.A. ソムリエ

日本酒のソムリエ **唎酒師** SSI 認定 国際唎酒師

No.61

SAKE Freak

【『コルク折れた!開けて〜!』『もーまたー?(怒)』】

皆さまこんにちは。ソムリエ・国際唎酒師の宮岡です。サケフリーク、気づけば丸5年、お酒にまつわる記事を書かせていただいております。最近ではイベントやお店などで声をかけていただき、皆さまと日本酒やワインのお話ができることを大変嬉しく思っています。いつもありがとうございます。

最近では少し変わった趣味ができました。ワインを飲み終えた後のコルクを見つけては、写真に残すことです。昔の私はコルク栓のワインを開けるのが大の苦手。お客様にもスクリュキャップのワインばかりおすすめしていました。本当に何度コルクを折ったことか…。毎回、折れたコルクが刺さったまま先輩に「折れた〜!開けて〜!」とボトルを渡していたので、しまいには注文が入ると「貸して!」と言われて勝手に開けてくれるようになりました。まともに開けられるようになったのは、カナダ・トロントで働いていた頃です。抜栓する機会が増え、気づけば歩きながらでも開けられるほどに(もちろん、お行儀的にもワイン的にもおす

すめはできません)。

さて、そもそもコルクとは何者なのでしょう。コルクは「コルク樫(コルクガシ)」という木の樹皮から作られる天然素材で、その半数以上がポルトガルで生産されています。弾力性があり、軽く、耐水性にも優れているため、古くからワインボトルの栓として使われてきました。コルクは単に瓶の口を塞いでいるだけではありません。ワインを外気から守りながら、酸素の透過を適度にコントロールするという大切な役割があります。そのおかげで、ワインはゆっくりと時間をかけて熟成し、香りや味わいが複雑に変化していくのです。

コルクの話をする、必ず話題に上がるのがスクリュキャップです。道具がなくても簡単に開けられ、飲み残してもすぐに閉められる、とても便利な栓です。しかし、「スクリュキャップ=安価なワイン」というイメージを持つ方も少なくありません。ですが、現在ではキャップ内部のパッキンの性能が上がり、酸素の透過量をコントロールできるようになりました。そのため、

SSI認定国際唎酒師
J.S.A.ソムリエ

宮岡 瞳

高品質なワインや熟成を見据えたワインにも採用されるケースが増えていきます。「コルクだから良い」「スクリュキャップだから安い」という時代ではなく、それぞれのワインに合わせて最適な栓が選ばれる時代になってきているのです。

昔の私に言ってあげたい。「大丈夫。コルクを集めて喜ぶ日が来るよ。」って。



コルク達とマイ ソムリエナイフ

広報委員会だより

・経営企画係長 小林

インスタ
を添えて

いつもInstagramをご覧いただき、ありがとうございます。

梅雨の時期を迎え、雨の日が続く季節となりました。外出の機会が少なくなるこの時期ですが、院内では日々さまざまな取り組みが行われています。

Instagramでは、そうした“普段は見えにくい院内の様子”を知るきっかけとして、行事や日常の一コマを発信しています。

部署を越えて院内の雰囲気を感じていただける内容となっていますので、ぜひ気軽にご覧ください。

♡ 令和8年6月の注目投稿!

新人看護師を対象としたフォローアップ研修を実施しました。研修では、これまでの業務を振り返り、悩みや嬉しかった経験を共有することで、お互いの成長を実感する機会となりました。

また、アイスブレイクを通じてチームワークを深めるとともに、

「どのような看護師を目指すのか」について考え、自身の目標を見つめ直しました。

それぞれが思い描く看護師像に向かって、今後の成長が期待されます。

ぜひInstagramの投稿をご覧ください。

6月の
投稿一覧



Instagram始めました!

病院紹介、採用情報を掲載しています。
是非ご覧ください。



Instagram



nho_fukuyama

ムギ (むぎ)

卷12-3096



「歌の大意」(萬葉集私注 土屋文明 著)

馬柵越に麦食む駒の罵らゆれど
猶し恋しく思ひあへずも

馬柵越に麦を食ふ駒の如く、罵られるけれども、
なほ恋しく、思ひに堪へられない

萬葉植物考

万葉表記:麦、武芸、該当する植物 いね科、オオムギ、コムギ。麦は五穀の一つとして、古典にも早くから現れています。日本書紀の神代上第五段の一書第十一に、保食神(うけもちのかみ)が亡くなった時、額の上に粟、眼の中に稗(ひえ)腹の中に稲、陰(ほと)に麦及び大小豆(まめのあづき)が生じた。天照大神が喜んで、これはこの世に生きる人間の食物である、と言われた、という記述があります。この粟、稗、麦、豆と稲が普通に五穀と称されるものです。麦は大別してオオムギ(大麦)とコムギ(小麦)に分けられます。オオムギの原種はアフガニスタンから西アジア一帯の山岳地野生する二條種で、これがイラク・トルコ地方で栽培が始まって栽培種の二條種や六條種が育成されたようです。二條種は穂に粒が二列に並んでいるもの、六條種はこれが六列のものです。オオムギは粒が縦横ともにきちんと並んでいて、特にノギの長いのが特徴です。食用とする裸麦もオオムギです。大麦は醤油、味噌、麦酒、飴などの原料とします。大麦というのは幼植物の葉が小麦より大型なのでこの名がつけられています。日本には三～四世紀に朝鮮から移民とともに伝来しました。麦飯に入れる押し麦が、オオムギの果実です。ふつうは秋播きの一年草で、茎は束生し、日本の品種では高さ70センチから1メートルくらいになります。六條オオムギは皮ムギ、裸ムギとともに日本で見られる品種の大部分が耐寒性にとばしい麦なので北海道では春播きの丸実種や、耐寒性の強い四條オオムギが栽培されています。麦の効用としてオオムギにはタンパク質、脂質、ビタミンB1、B2、ミネラルを多く含み、また食物繊維が腸の運動を活発にします。効用は脚気の予防に最適、整腸作用に優れ、消化を促し、便秘、下痢、便秘からくる肌のトラブルに有効です。小麦の主成分は糖質で、たんぱく質、脂質、リン、ビタミンB1、B2、リノール酸を含み、胚芽部には食物繊維やビタミンEが豊富で、胃腸をじょうぶにし、老化防止に有効です。

柜ウマ
楯セ
越ゴシ
爾ニ

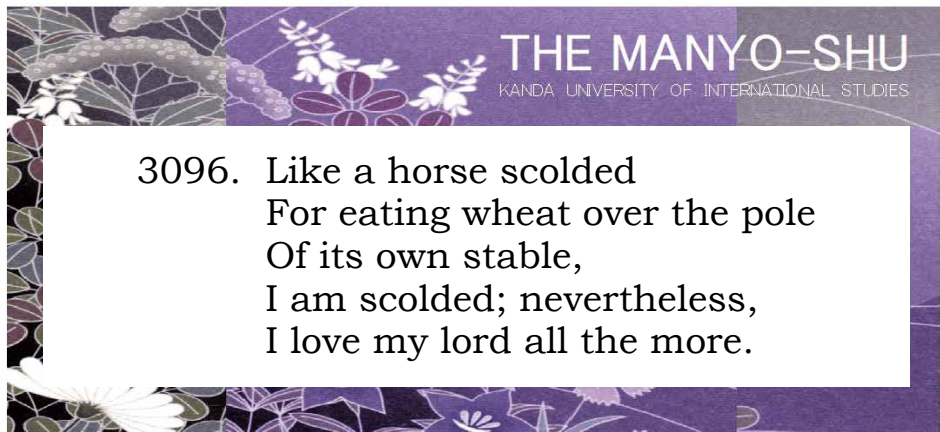
麥ムギ
昨ハム
駒コマ
乃ノ

雖言

猶戀久

思不勝焉

作者不詳





一枚の絵 NO.163

yukimitsu sanayasu の
ぶらり旅日記



さな やす ゆき みつ
真 安 幸 光 氏

たこつぼ (竈の浦)

どこか素朴で、時間の流れがゆるやかに感じられ、並べられたたこつぼは、一見すると無機質な道具でありながら、一つひとつに人の営みや海との関わりがにじんでいるように見えます。少し土の色が異なっていたり、微妙に傾いていたりする様子が、長く使われてきた歴史や漁の風景を静かに語っているようです。竈の浦という土地ならではの、潮の香りや静かな波の気配を感じ、にぎやかすぎず、かといって寂しすぎない、その絶妙な落ち着きが、この場所の魅力でもあるように思います。



ひまわりサロンミニレクチャー

2026年10月20日(火) 15時から16時頃まで	口腔ケアでがん治療はグッと楽になる ～口腔ケアのポイントお伝えします～	歯科衛生士	福山医療センター 4階小研修室1、2
2027年2月9日(火) 15時から16時頃まで	未定	広島県がん ピアサポーター	福山医療センター 4階小研修室1、2

※令和8年度ひまわりサロンは感染防止に十分注意して対面で開催いたします。

※費用:無料 ※予約:不要 ※どなたでも気軽にご参加下さい。



音楽カフェ

『スプリングコンサート』の様子を院内放送の12チャンネルで放送中です。「春が来た」「さくらさくら」「森へ行きましょう」「おぼろ月夜」など誰もが知る春の童謡を、内科・村上敬子先生をはじめとする当院の職員とOGが演奏します。ハンドベルとトーンチャイムで奏でるおだやかな春の音色をぜひご鑑賞ください。



お知らせ 研修会・オープンカンファレンス

オープンカンファレンス

現在予定はありません。今後、開催日が決まりましたら当院ホームページにて改めてお知らせします。

STAFF

publisher 稲垣 優
chief editor 大塚 眞哉 森岡 頼彦

【部】

臨床研究部 大塚 眞哉
救急医療部 徳永 尚之
がん診療部 三好 和也
教育研修部 豊川 達也
治験管理部 内海 方嗣
医師業務支援部 常光 洋輔
広報部 大塚 眞哉
感染制御部 齊藤 誠司
国際支援部 藤田 勲生
ワークライフバランス部 岩瀬 瑞恵
緩和ケア部 高橋 健司
薬剤部 中野 良
看護部 市樂 美千代
集中治療部 友塚 直人

【センター】

参入脱退支援・周術期管理センター 友塚 直人
医療連携支援センター 常光 洋輔
小児医療センター 荒木 徹
新生児センター 岩瀬 瑞恵
内視鏡センター 豊川 達也
外来化学療法センター 岡田 俊明
心臓リハビリテーションセンター 廣田 稔
脊椎・人工関節センター 甲斐 信生
頭頸部腫瘍センター 福島 慶
低侵襲治療センター 寺石 文則
エイズ治療センター 齊藤 誠司
画像センター 岸 亮太郎
がんゲノム医療センター 三好 和也

【科】

診療放射線科 小林 正直
臨床検査科 平岡 健吾
リハビリテーション科 門脇 守男
【室】
栄養管理室 藤原 朝子
医療安全管理室 大塚 眞哉
高田 薫
経営企画室 藤川 直也
がん相談支援室 藤田 勲生
歯科衛生士室 藤原 千尋
ME室 西原 博政
診療情報管理室 峯松 佑典

【医局】

医局 稻生 祥子

FMC NEWS

VOL.19 2026

JULY

編集後記

『年齢を超えた、 その人らしい医療を目指して』

近年、私が強く関心を寄せているテーマの一つに、「高齢者医療における本当の意味での個別化医療」があります。日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎え、私たち外科医が日々向き合う患者さんの年齢も確実に高くなっています。一昔前までは、「高齢であること」そのものが手術の大きなリスクとして捉えられることが少なくありませんでした。しかし現在では、年齢だけで患者さんを判断するのではなく、その方がどのような生活を送り、どれだけの体力や回復力を持っているのかを総合的に評価することが重要になっています。

特に大腸がん診療においては、手術技術の進歩により、腹腔鏡手術やロボット支援手術など、身体への負担を軽減した治療が可能となっています。しかし、優れた技術があるだけでは十分ではありません。大切なのは、その患者さんにとって「手術を受けることが本当に最善なのか」「治療後にどのような生活を取り戻したいのか」とともに考えることです。

私たち医療者の使命は、病気を治すことだけではなく、患者さんが大切にしている人生や日常を支えることにあります。そのためには、外科医だけでなく、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種が力を合わせ、患者さん中心の医療を実践していくことが不可欠です。

また、地域の中核病院として、最新の医療技術を安全に提供すると同時に、地域の皆様に信頼され、安心して相談していただける存在であり続けることも重要です。

医療は常に進歩しています。しかし、その中心にあるべきものは、いつの時代も「人」であると感じています。これからも、一人ひとりの患者さんに寄り添い、その方らしい人生を支える医療を追求していきたいと思います。

最後になりましたが、本誌を通じて当院の取り組みや医療への思いを少しでも身近に感じていただければ幸いです。

統括診療部長 寺石 文則



独立行政法人 国立病院機構

福山医療センター



基本理念

わたしたちは、国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さまの権利と意思を尊重し、患者さまの健康と医療の質の向上のため、たゆめ努力を行い、安全でしかも患者さまにとって最善の質の高い医療をめざします。

基本方針

1. 患者さまに寄り添い、患者さまを中心とした医療を提供します。
2. チーム医療の実践により効率的で安全な質の高い医療を提供します。
3. 地域医療機関と密に連携し、患者情報の共有による一貫した医療提供体制を構築します。
4. 政策医療の「がん」「育成医療」「骨・運動器」を中心として、地域に最適な医療の提供に貢献します。
5. 健全な経営に努めるとともに、常に明るく活力のある職場作りを心掛けています。
6. 臨床研究を精力的に行い、医学の進歩に貢献するとともに、日々研鑽して臨床教育・研修の充実に努めます。

外来診療予定表

令和8年7月1日現在

【受付時間】 平日8:30~11:00

※眼科は休診中です。

【電話番号】 084-922-0001(代表)

(地域医療連携室) TEL 084-922-9951(直通)

FAX 084-922-2411(直通)

診療科名		月		火	水	木	金	備考
小児医療センター	小児科	午前	坂本 朋子	藤原 倫昌	小林 光郎	北田 邦美	坂本 朋子 小田 慈※1	予約のみ ※1 毎月第3 ※2 毎月第2 ※3 毎月第1・3 ※4 毎月第4
		午前	荒木 徹 藤原 倫昌 北田 邦美	小林 光郎 北田 邦美 山道 奈都子 宮原 大輔 ※4	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 小林 光郎 坂本 朋子 近藤 宏樹 ※2	荒木 徹 北田 邦美	
		午後	荒木 徹 山道 奈都子	藤原 倫昌 宮原 大輔 ※4	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 小林 光郎 近藤 宏樹 ※2 細木 瑞穂 坂本 朋子 藤井 智香子 ※3	藤原 倫昌 北田 邦美	
	摂食外来				綾野 理加	綾野 理加		水(1週)・木(4週)・・・9:30-16:00
	乳児健診							予約制(水・木)
	予防接種・シナジス		シナジス	予防接種				シナジス外来は冬期のみ13:30-14:30 予防接種13:30-14:30
小児外科・小児泌尿器科	小児外科・小児泌尿器科		山道 拓 奥坊 斗規子 ※5	窪田 昭男※6 (13:00-15:30)	宇賀 菜緒子	山道 拓 吉田 篤史 ※5 (13:30-16:00)		※5 隔週 ※6 毎月1…小児便秘専門外来併診 診察は小児科で行います
新生児	新生児科	午前	猪谷 元浩				岩瀬 瑞恵	
		午後		猪谷 元浩	岩瀬 瑞恵			
産婦人科	産婦人科外来		今福 紀章 藤田 志保	山本 暖	今福 紀章 末森 彩乃	藤田 志保	山本 暖 末森 彩乃	木(10:00-12:00)・・・母乳外来(予約制) 産婦人科外来で行います
							出生前カウンセリング	出生前カウンセリングは、 11:00、11:30、12:00、12:30のみ
泌尿器科	泌尿器科外来	午前	増本 弘史	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	桐島 史明	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾	長谷川医師…金(2・4・5週)終日(1・3週)午後のみ 増本医師…金(1・3週)終日(2・4・5週)午後のみ 桐島医師…金(1・3週)終日(2・4・5週)午後のみ 松原医師…金(2・4・5週)終日(1・3週)午後のみ
		午後		長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道		長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	
					ストーマ外来			水…ストーマ外来 14:00-
総合内科	総合内科外来	初診	福井 洋介 廣田 稔	豊川 達也	藤田 勲生	稻生 祥子	齋藤 誠司	福井医師…月(2・4週) 廣田医師…月(1・3・5週)
			原 友太 高田 皓平	福井 洋介 住井 遼平 佐藤 大直	齊藤 誠司 木村 美名子	住井 遼平 高木 桃李 宇田 陽紀	岡本 晃一 中城 健	水…齋藤医師(総合内科・感染症科)
消化器内科	消化器内科外来		藤田 勲生 村上 敬子	豊川 達也 野間 康宏	稻生 祥子	村上 敬子 日野 真太郎	豊川 達也	月…村上医師は紹介患者を午前中のみ

ご予約がなくても受診は可能です(完全予約制を除く)。ただし、ご予約をいただいた方が優先となりますので、長い時間お待ちいただくこともございます。あらかじめご了承ください。

診療科名			月	火	水	木	金	備 考
肝臓内科	肝臓内科外来				兒玉 英章		兒玉 英章	
血液内科	血液内科外来		近藤 匠					月…第1・3・5週のみ
内分泌内科	内分泌内科外来			寺坂 友博			石井 貴大	
糖尿病内科	糖尿病内科外来	午前	須江 美裕		須江 美裕			予約制(初診は地連予約のみ)
		午後						
リウマチ・膠原病内科	リウマチ・膠原病内科外来	午前			赤木貴彦			水…第1・3週午前のみ
肝・胆・膵外科	肝・胆・膵外科外来	午前			稲垣 優 北田 浩二	稲垣 優 徳永 尚之		
		午後				内海 方嗣		
消化管外科	消化管外科外来	午前	宮宗 秀明 寺石 文則	大塚 眞哉 濱野 亮輔 岡林 弘樹	大塚 眞哉	常光 洋輔 宮宗 秀明	常光 洋輔 岡林 弘樹 高橋 立成	
		午後	宮宗 秀明 寺石 文則	濱野 亮輔 岡林 弘樹 加藤 雄也		宮宗 秀明	岡林 弘樹	
ストーマ外来	ストーマ外来	午後	宮宗 秀明					
乳腺・内分泌外科	乳腺・内分泌外科外来	午前		三好 和也	高橋 寛敏		三好 和也	月曜日(午後)は予約患者のみ
		午後	高橋 寛敏	三好 和也	高橋 寛敏	楳原 友希		
遺伝診療科	遺伝診療科外来	午前				山本 英喜		木…第1・3週午前のみ ※診察は脳神経外科外来で行います
内視鏡センター	消化管		野間 康宏 豊川 達也 稲生 祥子 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子 中城 健	藤田 勲生 稲生 祥子 原 友太 表 静馬 平岡 凌河 岡本 晃一 高木 桃李 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子 中城 健	野間 康宏 豊川 達也 村上 敬子 原 友太 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 宇田 陽紀 日野 真太郎 中城 健	藤田 勲生 豊川 達也 野間 康宏 原 友太 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 木村 美名子 中城 健	稲生 祥子 藤田 勲生 野間 康宏 前原 弘江 原 友太 住井 遼平 岡本 晃一 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子	
	気管支鏡			岡田 俊明 妹尾 賢 大森 洋樹 松浦 宏昌 高田 皓平 馬場 貴大			岡田 俊明 妹尾 賢 大森 洋樹 松浦 宏昌 高田 皓平 馬場 貴大	
呼吸器内科	呼吸器内科外来		岡田 俊明 松浦 宏昌	市原 英基	妹尾 賢 大森 洋樹 馬場 貴大	岡田 俊明 妹尾 賢 松浦 宏昌	大森 洋樹 馬場 貴大	月・水・木…肺がん検診 月・木…結核検診 火…市原医師は午前のみ 金…大森医師・馬場医師は午後のみ 水…馬場医師は第1・3・5 木…松浦医師は午後のみ
呼吸器外科	呼吸器外科外来	午前 午後	高橋 健司 二萬 英斗	高橋 健司		二萬 英斗		
循環器内科	循環器内科外来						廣田 稔	水…心臓力テール検査(午後のみ)
血管外科	血管外科外来						丁 サムエル	第2・4金曜日 13:30—15:30
心臓リハビリテーションセンター	心臓 リハビリテーション		廣田 稔 上田 亜樹			廣田 稔 上田 亜樹		
脊椎・人工関節センター	整形外科		宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 渡邊 典行 古島 裕次郎 大石 聖明	宮本 正 日野 知仁	宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 宮澤 慎一 渡邊 典行 古島 裕次郎	初診は紹介状持参の方のみ 水…受付は10:30まで 木・金…宮澤医師(午前のみ) 月・水…宮本医師(月・午後のみ)/(水・午前のみ) 月・水・木…日野医師(午前のみ) 木…松下医師(午前のみ) 火・金…古島医師(火・午後のみ)/(金・午前のみ) 火…大石医師(火・午前のみ)
				リウマチ・関節外来				リウマチ・関節外来…松下医師
頭頸部腫瘍センター	耳鼻咽喉・頭頸部外科	午前	中谷 宏章 竹内 薫			中谷 宏章 福島 慶	福島 慶 竹内 薫 佐藤 直弥	午後には予約のみ 補聴器外来…第2・4金曜日午後のみ
		午後	福島 慶			中谷 宏章 福島 慶	補聴器外来	
	形成外科	午前	三河内 明 井上 温子		三河内 明 河田 真由美		三河内 明 河田 真由美	
皮膚科	皮膚科外来	午前	藤井 江利子	藤井 江利子	藤井 江利子	下江 敬生	藤井 江利子	月～金…午前のみ
精神科	精神科外来		水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一	月・木…初診のみ(地連予約必) 火・水・金…再診のみ
エイズ診療センター	総合内科・感染症科		齊藤 誠司		齊藤 誠司		齊藤 誠司	月…齊藤医師は午後のみ(予約のみ)
画像センター	放射線診断科		岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎	岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎	左記、地連予約枠
	放射線治療科		中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	火・金…ラルス治療(午後)
	IVR		平岡 凌河 兒玉 英章		廣田 稔 福井 洋介	坂田 雅浩 兒玉 英章		月…午後のみ 木…午後のみ
口腔相談支援センター	口腔相談		黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	平日 8:30—16:30(予約不要)
看護外来	リンパ浮腫外来		岡野 敬子 大原 聡子			岡野 敬子 大原 聡子		予約のみ 月…初回の方のみ 木…2回目以降の方のみ
	がん看護外来				がん専門看護師			予約のみ がん専門看護師又はがん分野の認定看護師対応
その他	健康診断		健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	平日 8:30—10:00 受付 ※事前に予約連絡をお願いします (内科・外科…予約不可 産婦人科…11:00まで) 市検診の肺がん検診は月・水・木
	禁煙外来				長谷川 利路 (代診の場合あり)			※診察は耳鼻咽喉・頭頸部外科で行います。 水…10:00-12:00 初診は月1回指定日になります ※コンサルテーションオーダーされる際は、 耳鼻科外来に一報をお願いします。

【休診日】土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29—1/3) ※眼科は休診中です。



白南風



CONTENTS

福山医療センター 地域医療連携のつどい2026	1~8
Publish	9
特別インタビュー 人生100年応援隊	12
新採用者紹介	15~20
1枚の絵 No.163 ひまわりサロンミニレクチャー 音楽カフェ お知らせ 研修会・オープンカンファレンス	28
編集後記	28
外来診療予定表 (2026年7月)	29・30

連載

No.134 在宅医療の現場から	10
"中国ビジネス情報" 転載 外科医のひとりごと Vol.80	11
No.12 面白い生物の世界とクラシック音楽	13・14
No.145 事務部だより「砂」	14
連載153 世界の病院から 病院見聞記・台湾編 No.81	21・22
マサカツくんのツーリング紀行 No.87	23・24
Design No.114	25
SAKE Freak No.61	25
広報委員会だより Vol.12	26
萬葉の花と歌(91)	27

■ 撮影者からのコメント

庭先や山間の道端でよく目にするギボウシですが、ギボウシの呼び方よりも山菜の「ウレイ」としての方が知名度は高いかも知れません。

表紙の花は「オオバギボウシ」の開花の初期形態です。この後、蕾たちが下から上へと次々と開花して最後には五重塔のような形となりますが、興味を持って観察した事がなかったので、こんなに可愛い状態がある事を知りませんでした。

訪れた日は、今にも雨が降りだしそうな曇天。でも、それが幸いしたのでしょうか。シックな色合いでも強い光に打ち消されず、逆に目を引いて見つけることが出来ました。

鯉が窪湿原はこれから「さぎ草」「ピッチュウフウロ」「シラヒゲソウ」など沢山の野草に出会う事ができます。皆さんも是非一度、足を運んでは如何でしょうか。

2A病棟看護師 中島 和枝

読者の皆さまのご意見・ご要望をもとに、より充実した内容の広報誌を目指しています。
ご意見・ご要望は FAX:084-931-3969 又は E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp までお寄せください。



独立行政法人 国立病院機構
福山医療センター
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17
TEL(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>



福山医療センターだより FMC NEWS 2026.7月号/通巻218号 発行者:福山医療センター広報誌 編集委員会 発行責任者:稲垣 優

福山医療センター HP